

統合ソフトウェア 操作説明書（Device Manager 機能）

目次

統合ソフトウェア 操作説明書（Device Manager 機能）	1
Device Manager 機能について	3
機能の概要	3
Device Manager 機能の選択	3
デバイス使用時の注意事項について	4
リモートカメラの自動設定について	4
ボックススタイルカメラ使用時の注意事項	5
デジタルミラーレス一眼カメラ使用時の注意事項	6
スタジオカメラ、マルチパーパスカメラ使用時の注意事項	7
リモートカメラコントローラー使用時の注意事項	8
MOVICOM 製 Pan/Tilt Head 使用時の注意事項	9
デバイスの登録	11
デバイスの登録について	11
デバイスの登録手順（GUI 上でデバイス情報を設定する場合）	12
デバイスの登録手順（CSV ファイルをインポートする場合）	15
デバイスの登録手順（リモートカメラコントローラーのカメラ情報をインポートする場合）	16
CSV ファイルのテンプレートファイルをダウンロードする	18
CSV ファイルの仕様について	19
デバイスのエクスポート	21
デバイスのエクスポートについて	21
デバイスの登録情報を CSV ファイルにエクスポートする	22
カメラの登録情報をリモートカメラコントローラーにエクスポートする	23
デバイスの一覧表示と設定値の変更	25
デバイスの一覧を表示する	25
リスト表示の説明	26
サムネイル表示の説明	27
表示するデバイスを絞り込む	28
リスト表示に表示する項目を設定する	29
リスト表示項目の説明	31
リスト表示上でデバイスの設定値を変更する	34

リスト表示上でのデバイスの設定値をロックする	36
デバイスの設定ファイル操作.....	37
設定ファイル操作について.....	37
対応するデバイス	37
対応するデータ	38
PC 上に保存した設定ファイルの取り扱いについて	38
設定ファイルの Save を行う	39
設定ファイルの Copy を行う	40
デバイスメニューの操作.....	43
デバイスメニューを表示する	43
デバイスの操作画面を開く	44
デバイスの Web 画面を開く	45
デバイスの電源を ON にする	45
デバイスをスタンバイ状態にする	46
デバイスの映像記録を開始／停止する	46
デバイスの登録情報・設定を変更する	47
デバイスを削除する.....	50
グループメニューの操作.....	51
グループメニューを表示する	51
グループ内の全デバイスの電源を ON にする	52
グループ内の全デバイスをスタンバイ状態にする	53
グループ内の全デバイスの映像記録を開始／停止する	53
グループの表示名を変更する	54
グループ内のデバイス表示順を変更する	55
グループ内のデバイスを別のグループに移動する	56
グループを削除する.....	57
内蔵 EasyIP Setup Tool Plus 機能.....	58
主な機能.....	58
画面の説明	59
Identify 機能.....	62
Network Settings 機能	63
Auto IP 機能.....	65
Administrator Registration 機能	67
Firmware Update 機能.....	68
Activation 機能.....	71
デバイスリストの表示項目を設定する	74
アカウント権限による機能制限.....	75
権限による制限の一覧.....	75

Device Manager 機能について

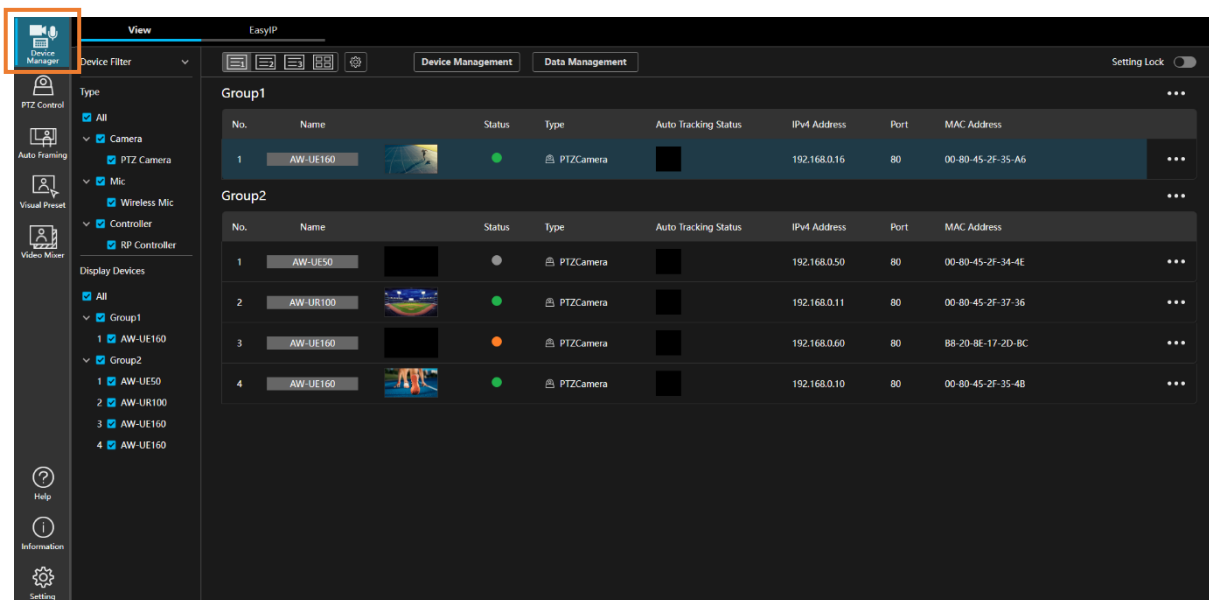
機能の概要

Device Manager 機能は本ソフトウェアで使用するリモートカメラなどのデバイスを管理する機能を提供します。

- Device Manager 機能でできること
 - デバイスの登録／登録内容変更／削除
 - デバイスの一覧表示
 - デバイスの設定状態表示／設定変更
 - デバイスの設定ファイル操作（保存／コピー）
 - デバイスの Web 画面表示
 - デバイスの電源管理
 - 内蔵 EasyIP Setup Tool Plus 機能の利用
 - ネットワーク上のデバイスの自動検出
 - デバイスのネットワーク設定
 - デバイスのファームウェアアップデート
 - デバイスの管理者一括登録
 - デバイスの NDI|HX／SMPTE ST 2110 アクティベーション

Device Manager 機能の選択

画面左の機能選択エリアで[Device Manager]ボタンをクリックすると、画面が Device Manager 機能のものに切り替わります。



デバイス使用時の注意事項について

デバイスの種類によって、事前に設定が必要なものや制約事項が発生するものなどがあります。

リモートカメラの自動設定について

本ソフトウェアでは、自動的にリモートカメラ本体側の以下の設定が変更されます。

- ・ JPEG 設定（カメラの Web 画面で、Setup->Video over IP -> JPEG の設定）

JPEG(1)

JPEG transmission : On

Image capture size : 1280x720 ※1/※2

Refresh interval : NTSC 時 : 30fps、PAL 時 : 25fps

Image quality : fine ※3

- ・ Crop 設定

IP(H.264/H.265) OUT1 [FULL、CROP] : FULL ※4

- ・ 映像出力ソースの設定 ※5

Output source(IP/NDI|HX) : 3G SDI2

<NOTE>

※1 : 以下の機種に関しては、JPEG(1)の Image capture size の設定は、640x360 になります。

AW-UE20, AW-HE20

※2 : 機種の設定(NDIHx など)に応じて、JPEG(1) の Image capture size の設定は、640x360 になります。

※3 : 以下の機種に関しては、JPEG(1)の Image quality の設定は、normal になります。

AW-UE70/UN70/UE65/UE63, AW-HE75/HE68/HE42

※4 : Crop 機能を搭載する下記の機種のみ自動設定されます。

AW-UE160/UE163、AW-UE150A/UE158/UE148、**AW-UE150/**UE155/**UN145、

AW-UE100、AW-UR100

(2025 年 11 月現在)

※5 : 下記の機種かつ、UHD Crop Mode が[Crop(1080)]もしくは[Crop(720)]に設定されている時のみ自動設定されます。

AW-UE150A/UE158/UE148 (2025 年 11 月現在)

ボックススタイルカメラ使用時の注意事項

■対象機種

AW-UB10

AW-UB50

■事前設定について

本ソフトウェアでボックススタイルカメラを使用するときは、事前に以下の設定が必要です。

・カメラの有線 LAN 動作モード設定

カメラ本体の設定メニューで「IN/OUT」→「有線 LAN」→「有線 LAN 機能」を「コントローラーをつないで使う」に設定してください。

詳細はカメラ本体の操作説明書を参照ください。

・カメラのアカウント設定（アカウント名/パスワードの設定）

本ソフトウェアの内蔵 EasyIP Setup Tool Plus 機能で Administrator Registration を選択してカメラのアカウント設定を行ってください。

詳細は本書の「[Administrator Registration 機能](#)」を参照ください。

・カメラのフォトスタイル設定

R PEDESTAL, G PEDESTAL, B PEDESTAL を操作したい場合は、カメラ本体の設定メニューで「画質 1」→「フォトスタイル」を「リモートカメラ（UE160）」に設定してください。

詳細はカメラ本体の操作説明書を参照ください。

■制約事項について

ボックススタイルカメラでは、以下の制約事項があります。

- ・本ソフトウェアの各機能で、カメラの映像が表示されません。

■カメラのファームウェアについて

カメラのファームウェアは最新にしてご使用ください。

ファームウェア公開状況は以下の Web サイトをご確認ください。

<https://eww.pass.panasonic.co.jp/pro-av/support/content/download/JP/top.html>

デジタルミラーレス一眼カメラ使用時の注意事項

■対象機種

DC-S1M2NT

■事前設定について

本ソフトウェアでデジタルミラーレス一眼カメラを使用するときは、事前に以下の設定が必要です。

・ USB イーサネットアダプターの設定

カメラ本体の設定メニューで「IN/OUT1」→「USB」→「USB イーサネットアダプター」を「CONTROLLER」に設定してください。

詳細はカメラ本体の操作説明書を参照ください。

・ IP 簡単設定

カメラの登録時、または EasyIP Setup Tool Plus 機能のカメラ自動検出を有効にしたい場合はカメラ本体の設定メニューで「IN/OUT1」→「有線 LAN/WiFi」→「IP 簡単設定」を「20MIN.」もしくは「UNLIMITED」に設定してください。

詳細はカメラ本体の操作説明書を参照ください。

・ カメラのアカウント設定（アカウント名/パスワードの設定）

本ソフトウェアの内蔵 EasyIP Setup Tool Plus 機能で Administrator Registration を選択してカメラのアカウント設定を行ってください。

詳細は本書の「[Administrator Registration 機能](#)」を参照ください。

・ カメラの動作モード設定

カメラ本体の写真／動画／S&Q 切り替えスイッチで「動画モード」を選択してください。

詳細はカメラ本体の操作説明書を参照ください。

■制約事項について

デジタルミラーレス一眼カメラでは、以下の制約事項があります。

- ・ 本ソフトウェアの各機能で、カメラの映像が表示されません。
- ・ カメラを Manual で登録した場合、カメラの MAC Address と Serial Number が表示されません。
- ・ 本ソフトウェアからの Focus 操作は、カメラ本体のフォーカスモードレバーが MF のときのみ反映されます。MF 以外のときはオートフォーカスで動作します。
- ・ 本ソフトウェアからの Iris 操作は、カメラ本体のモードダイヤルが A、M のときのみ反映されます。それ以外のモードのときはオートアイリスで動作します。
- ・ 本ソフトウェアからの Gain 操作は、カメラ本体の動作設定の  -> 画質 2 -> SS/ゲイン操作が <秒/dB>設定のときのみ反映されます。
- ・ Gain 操作で設定可能な範囲は、カメラ本体の動作設定の  -> 画質 1 -> フォトスタイルの設定によって異なります。

スタジオカメラ、マルチパーパスカメラ使用時の注意事項

■対象機種

スタジオカメラ

AK-UCX100

AK-UC4000

AK-UC4000B

AK-UC3300

マルチパーパスカメラ

AK-UBX100

■必要なライセンスについて

本ソフトウェアにスタジオカメラ、マルチパーパスカメラを登録してカメラを操作するには、本ソフトウェアの Image Adjust Pro プラグインのライセンスが必要です。

ライセンスが無い場合、カメラを登録しても本ソフトウェアから認識されず、操作を行うことができません。Image Adjust Pro プラグインの無償トライアルを開始するか、ライセンスのキーコード（AW-SF600）を購入してアクティベーションを行い、ライセンスを有効化してください。

Image Adjust Pro プラグインおよびライセンスについての詳細は、Image Adjust Pro プラグインの操作説明書を参照ください。

■制約事項について

スタジオカメラ、マルチパーパスカメラでは、以下の制約事項があります。

- ・本ソフトウェアの各機能で、カメラの映像が表示されません。
- ・カメラを Manual で登録した場合、カメラの MAC Address と Serial Number が表示されません。

リモートカメラコントローラー使用時の注意事項

■対象機種

AW-RP200

AW-RP150

AW-RP60

■デバイス登録時の User ID/Password 情報の入力について

リモートカメラコントローラーは、機種によって User ID /Password 情報の入力の要／不要が異なります。

User ID /Password の入力が必要な機種

AW-RP200

User ID /Password の入力が必要な機種

AW-RP150

AW-RP60

■制約事項について

リモートカメラコントローラーでは、以下の制約事項があります。

- ・リモートカメラコントローラーを Manual で登録した場合、MAC Address と Serial Number が表示されません。

MOVICOM 製 Pan/Tilt Head 使用時の注意事項

■対象機種

Robyhead D2

■Pan/Tilt Head に接続されるカメラについて

Pan/Tilt Head に下記カメラが接続されているときのみ、本ソフトウェアからの制御が可能です。

下記以外のカメラが接続されている場合、またはカメラが装着されていない場合は制御できません。

パナソニック製 ボックススタイルカメラ

AW-UB10

AW-UB50

■事前設定について

本ソフトウェアに Pan/Tilt Head を登録して使用するときは、事前に Pan/Tilt Head 本体側でカメラとの接続設定を行う必要があります。

以下の手順で接続設定を行ってください。

1. Web ブラウザ（Edge、Chrome）の URL 欄に Pan/Tilt Head の IP アドレスを入力して Pan/Tilt Head の Web 画面を開く
2. Web 画面の NETWORK ボタンをクリックして、NETWORK 設定画面を開く
3. 以下の項目を入力する
Cam IP Address : Pan/Tilt Head に接続するカメラの IP アドレス
Cam ID : Pan/Tilt Head に接続するカメラの ID
Cam password : Pan/Tilt Head に接続するカメラの Password
4. APPLY ボタンをクリックする
5. Web ブラウザの更新ボタンをクリックして画面更新を行い、Web 画面の UB camera connection が OK になっていることを確認する

Robyhead D2

NETWORK	Network
MOVEMENT	IP Address: 192.168.0.216
LENS	Subnet Mask: 255.255.255.0
TALLY	Gateway: 192.168.0.1
EXT	MAC Address: 70:B3:D5:5D:B0:00
STATISTICS	Cam IP Address: 192.168.0.51
	Cam ID:
	Cam password:
	UB camera connection: OK
	APPLY

■デバイス登録時の IP アドレスと User ID /Password 入力について

Pan/Tilt Head を本ソフトウェアに登録するときのデバイス情報は以下としてください。

IP アドレス : Pan/Tilt Head 本体の IP アドレスを設定

※Pan/Tilt Head に接続されているカメラの IP アドレスではないのでご注意ください。

User ID /Password : 空欄（入力不要）

■制約事項について

Pan/Tilt Head では、以下の制約事項があります。

- ・ Pan/Tilt Head を Manual で登録した場合、MAC Address／Version／Serial Number／DHCP が表示されません。

デバイスの登録

デバイスの登録について

本ソフトウェアでデバイスの操作を行うには、本ソフトウェアにデバイスを登録する必要があります。
デバイスの登録は以下のいずれかの方法で行うことができます。

- ・ GUI 上でデバイス情報を設定する

GUI 上で、自動検出されたデバイスの中から登録するデバイスを選択する、もしくはデバイスの情報を手動で入力する方法で登録を行います。

詳細は「[デバイスの登録手順 \(GUI 上でデバイス情報を設定する場合\)](#)」を参照ください。

- ・ デバイス情報が記載された CSV ファイルをインポートする

デバイスの情報が記載された CSV ファイルをあらかじめ作成しておき、それを GUI 上でインポートする方法で登録を行います。

詳細は「[デバイスの登録手順 \(CSV ファイルをインポートする場合\)](#)」を参照ください。

- ・ リモートカメラコントローラーに登録されているカメラの情報をインポートする

リモートカメラコントローラーに登録されているカメラの情報を本ソフトウェアの GUI 上でインポートする方法で登録を行います。

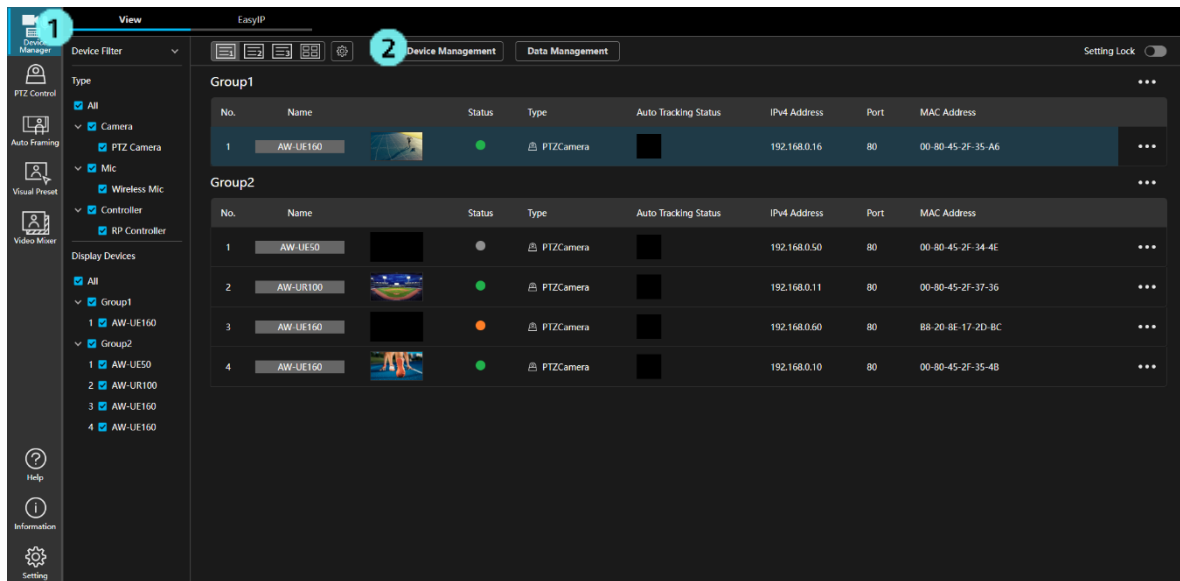
詳細は「[デバイスの登録手順 \(リモートカメラコントローラーのカメラ情報をインポートする場合\)](#)」を参照ください。

<NOTE>

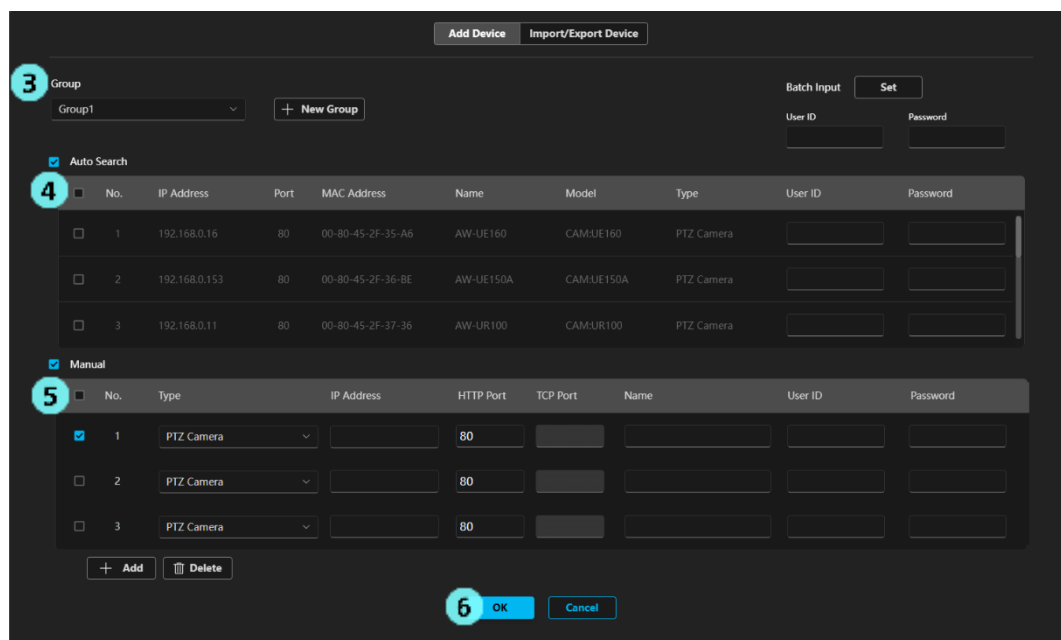
- ・ デバイスの種類によって、事前に設定が必要なものや制約事項が発生するものなどがあります。
デバイスの登録を行う前に、本書の「[デバイス使用時の注意事項について](#)」をご確認ください。

デバイスの登録手順（GUI上でデバイス情報を設定する場合）

自動検出されたデバイスの中から登録するデバイスを選択する、もしくはデバイスの情報を手動で入力する方法で登録を行う場合は以下の手順で登録を行います。



1. 画面左上の[View]タブをクリックしてView画面を表示します。
2. 画面上部の[Device Management]ボタンをクリックすると、デバイス管理画面（下図）が表示されます。



3. [Group]リストから、デバイス登録先のグループを選択します。
新しいグループを追加したい場合は[New Group]ボタンをクリックします。
新規グループの登録欄が表示されますので、グループ名を入力して[Add]ボタンをクリックすると[Group]リストに新しいグループが追加されます。

New Group Name

Room4

Add Cancel

4. [Auto Search]欄には自動検出されたネットワーク上のデバイスが表示されます。
追加したいデバイスのチェックを ON にして[User ID]と[Password]の欄にデバイスのアカウントとパスワードを入力します。

複数のデバイスのチェックを ON にすることで、複数のデバイスを一度に登録することができます。

<NOTE>

- ・アカウント管理機能がないデバイスの場合はアカウントとパスワードの入力は不要です。

詳細は本書の「[デバイス使用時の注意事項について](#)」を参照ください。

5. デバイスを手動登録したい場合は、[Manual]欄のチェックを ON にして以下のデバイス情報を入力します。

Type：デバイスの種類をリストから選択します。以下の通り選択してください。

パナソニック製デバイス

リモートカメラ登録時：PTZ Camera

ボックススタイルカメラ登録時：PTZ Camera

デジタルミラーレス一眼登録時：PTZ Camera

スタジオカメラ登録時：Studio Camera

マルチパーパスカメラ登録時：Studio Camera

リモートカメラコントローラー登録時：RP Controller

ワイヤレスマイクシステム登録時：Wireless Mic

MOVICOM 製デバイス

Pan/Tilt Head 登録時：PTZ Camera

IP Address：デバイスの IPv4 アドレスを入力します。

HTTP Port：デバイスの HTTP ポート番号を入力します。

TCP Port：Type で Studio Camera を選択したとき、デバイスの TCP ポート番号を入力します。

Studio Camera 以外を選択したときは入力不要です。

Name：デバイスの表示名を入力します。

User ID：デバイスのアカウント名を入力します。

Password：デバイスのパスワードを入力します。

<NOTE>

- ・画面右上の[Batch Input]欄の[User ID]/[Password]欄にアカウント名とパスワードを入力して[Set]ボタンをクリックすることで、[Auto Search]欄と[Manual]欄でチェック ON になっているデバイスすべての User ID と Password をまとめて設定することができます。
- ・アカウント管理機能がないデバイスの場合はアカウントとパスワードの入力は不要です。

詳細は本書の「[デバイス使用時の注意事項について](#)」を参照ください。

複数のデバイスを一度に登録したい場合は[Add]ボタンをクリックすると入力行が追加されますので、同様にデバイスの情報を入力します。

6. OK ボタンをクリックすると、デバイスの登録が行われます。

<NOTE>

- ・スタジオカメラを CCU 経由で接続する場合は以下のように登録を行ってください。

[Auto Search]で登録する場合：

自動検出された CCU を選択して登録

[Manual]で登録する場合：

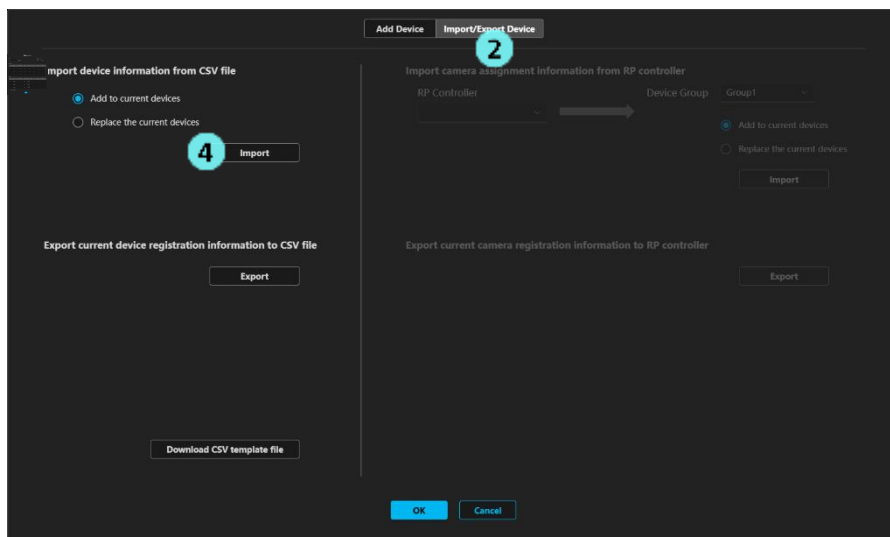
Type: Studio Camera を選択して、CCU の IP アドレスとポート番号を登録

- ・Type: Studio Camera のデバイス进行操作するには Image Adjust Pro プラグインのライセンス(AW-SF600)が必要です。詳細は「[スタジオカメラ、マルチパーパスカメラの動作について](#)」を参照ください。

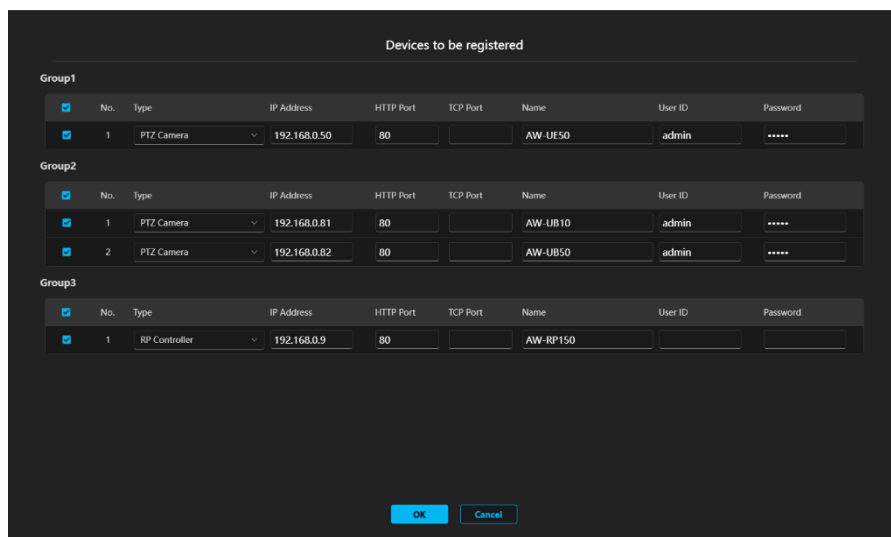
デバイスの登録手順（CSV ファイルをインポートする場合）

デバイスの情報が記載された CSV ファイルをインポートして登録を行う場合は以下の手順で登録を行います。CSV ファイルにデバイス情報をどのように記載するかについては「[CSV ファイルの仕様について](#)」を参照ください。

1. 「[デバイスの登録手順（GUI 上でデバイス情報を設定する場合）](#)」の 1.と 2.の手順に従ってデバイス管理画面を表示します。
2. デバイス管理画面の上部にある[Import/Export Device]タブをクリックします。



3. [Import device information from CSV file]欄で登録方法を選択します。
 - ・ Add to current devices
現在登録されているデバイスの後ろに追加する形で登録を行います。
 - ・ Replace the current devices
現在登録されているデバイスの内容をすべてクリアして置き換える形で登録を行います。
4. [Import]ボタンをクリックするとファイル選択ダイアログが表示されますので、CSV ファイルを選択します。
5. 登録されるデバイスの一覧画面が表示されますので必要に応じて修正を行います。



6. 登録されるデバイスの一覧画面で OK ボタンをクリックすると、登録が行われます。

デバイスの登録手順（リモートカメラコントローラーのカメラ情報をインポートする場合）

リモートカメラコントローラーに登録されているカメラの情報をインポートして本ソフトウェアに登録を行う操作について説明します。

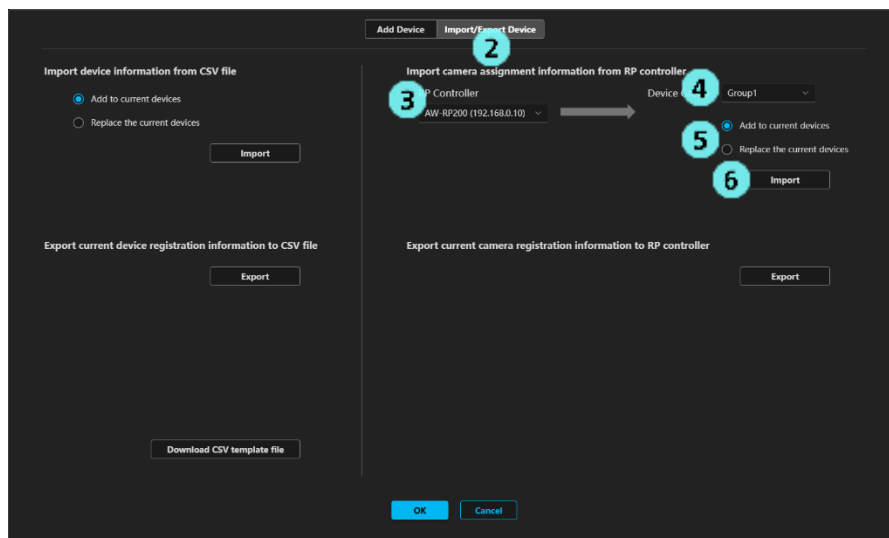
■制約事項

- ・本操作は以下のリモートカメラコントローラーのみ対応しています。
AW-RP200
- ・リモートカメラコントローラーで Control Type：LAN で登録されているカメラのみが対象となります。

■登録手順

- ・事前にリモートカメラコントローラーを本ソフトウェアに登録しておく必要があります。

1. 「[デバイスの登録手順（GUI上でデバイス情報を設定する場合）](#)」の 1.と 2.の手順に従ってデバイス管理画面を表示します。
2. デバイス管理画面の上部にある[Import/Export Device]タブをクリックします。



3. [Import camera assignment information from RP controller]欄の[RP Controller]リストでインポート元のリモートカメラコントローラーを選択します。
4. [Device Group]欄でインポート先のデバイスグループを選択します。
5. 登録方法を選択します。
 - ・ Add to current devices
現在登録されているデバイスの後ろに追加する形で登録を行います。
 - ・ Replace the current devices
現在登録されているデバイスの内容をすべてクリアして置き換える形で登録を行います。
6. [Import]ボタンをクリックするとリモートカメラコントローラーに登録されているカメラの一覧が表示されますので、必要に応じて修正を行います。

Devices to be registered

Group1

☒	No.	Control Type	IP Address	HTTP Port	TCP Port	Name	User ID	Password
☐	1	No Assign	192.168.0.71	80		Camera 1	admin	*****
☒	2	LAN	192.168.0.151	80		Camera 2	admin	*****
☐	3	No Assign	192.168.0.12	80		Camera 3	admin	*****
☐	4	No Assign	192.168.0.157	65535		Camera 4	admin	*****
☐	5	No Assign	192.168.0.14	80		Camera 5	admin	*****
☒	6	LAN	192.168.0.61	80		Camera 6	admin	*****
☐	7	No Assign	192.168.0.16	80		AW-UE160	admin	*****
☐	8	No Assign	192.168.0.11	80		AW-UR100	admin	*****
☐	9	No Assign	192.168.0.151	80		Camera 9	admin	*****
☐	10	No Assign	192.168.0.19	80		Camera 10	admin	*****
☐	11	No Assign	192.168.0.20	80		Camera 11	admin	*****
☐	12	No Assign	192.168.0.21	80		Camera 12	admin	*****

OK Cancel

7. カメラの一覧画面で OK ボタンをクリックすると、インポート & 登録が行われます。

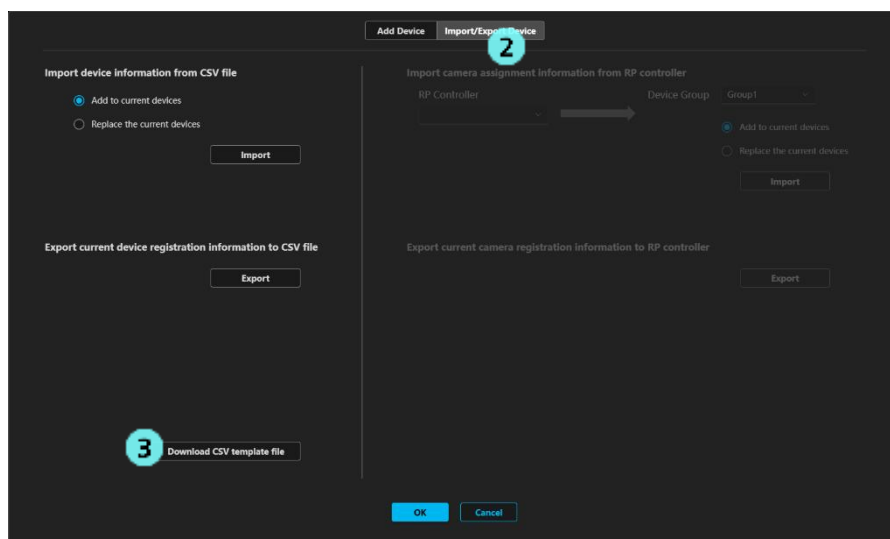
CSV ファイルのテンプレートファイルをダウンロードする

CSV ファイルのテンプレートファイルを本ソフトウェアのデバイス管理画面からダウンロードすることができます。

CSV ファイルを作成する際はテンプレートファイルを基にして作成を行うことを推奨します。

ダウンロードは以下の手順で行います。

1. 「[デバイスの登録手順（GUI 上でデバイス情報を設定する場合）](#)」の 1.と 2.の手順に従ってデバイス管理画面を表示します。
2. デバイス管理画面の上部にある[Import/Export Device]タブをクリックします。



3. [Download CSV template file] ボタンをクリックすると、ダウンロードフォルダーに MPS_DeviceRegistrationTemplate.csv ファイルがエクスポートされます。

CSV ファイルの仕様について

デバイス情報を記載する CSV ファイルの仕様は以下となります。

- ・ 1 行目に記載された内容は使用されません（項目の説明が入っているとの前提です）
- ・ 各列に記載すべき項目は以下になります。

- 1 列目：Group Name
- 2 列目：Device Type Number
- 3 列目：IP Address
- 4 列目：HTTP Port
- 5 列目：TCP Port
- 6 列目：Device Name
- 7 列目：User ID
- 8 列目：Password

- ・ 記載項目の詳細

項目名	説明	備考
Group Name	どのグループに登録するかをグループ名で記載します。 記載可能な文字種と文字数は以下となります。 文字種：制約なし 文字数：1 文字以上、32 文字以下（33 文字目以降の文字は無視されます）	・ 記載が省略された場合は先頭グループに登録されます。 ・ 記載されたグループが現在の登録グループに存在しなかった場合、記載された名称のグループが自動作成されます。
Device Type Number	デバイスの種類を数値で記載します。 0: PTZ Camera 1: Studio Camera 10: Wireless Mic 20: RP Controller	・ 記載が省略された場合は 0: PTZ Camera として登録されます。
IP Address	デバイスの IP アドレスを記載します。	
HTTP Port	デバイスの HTTP ポート番号を記載します。	・ 記載が省略された場合は 80 が設定されます。
TCP Port	デバイスの種類が Studio Camera の場合はデバイスの TCP ポート番号を記載します。Studio Camera 以外の場合は空白としてください。	
Device Name	デバイスの登録名を記載します。 記載可能な文字種と文字数は以下となります。 文字種：制約なし	・ 記載が省略された場合、自動検出されたデバイスに IP Address と HTTP Port が同じものが存在したときは、そのデ

	文字数：1 文字以上、32 文字以下（33 文字目以降の文字は無視されます）	バースの Title 情報を登録名として使用します。
User ID	デバイスにログインするときのアカウント名を記載します。	・デバイスにアカウント管理機能が無い場合は空欄としてください。
Password	デバイスにログインするときのパスワードを記載します。	・デバイスにアカウント管理機能が無い場合は空欄としてください。

・ 記載例

Group1 に IP アドレス：192.168.0.10 の PTZ Camera を、Group2 に IP アドレス：192.168.0.20 の PTZ Camera を登録するときの記載例です。

Group, Device Type Number(0:PTZ Camera 10:Wireless Mic 20:RP Controller), IP Address, HTTP Port, TCP Port, Device Name, User ID, Password

Group1,0,192.168.0.10,80,,AW-UE160,ptz_user,ptz_password

Group2,0,192.168.0.20,80,,AW-UE150,ptz_user,ptz_password

デバイスのエクスポート

デバイスのエクスポートについて

本ソフトウェアに登録されているデバイスの情報をエクスポートすることができます。

デバイスのエクスポートは以下のいずれかの方法で行うことができます。

- ・ デバイス情報を CSV ファイルにエクスポートする

本ソフトウェアに登録されているデバイスの情報を CSV ファイルにエクスポートすることができます。
エクスポートされた CSV ファイルは他の PC で実行されている本ソフトウェアのインポートに使用することができます。

詳細は「[デバイスの登録情報を CSV ファイルにエクスポートする](#)」を参照ください。

- ・ カメラ情報をリモートカメラコントローラーにエクスポートする

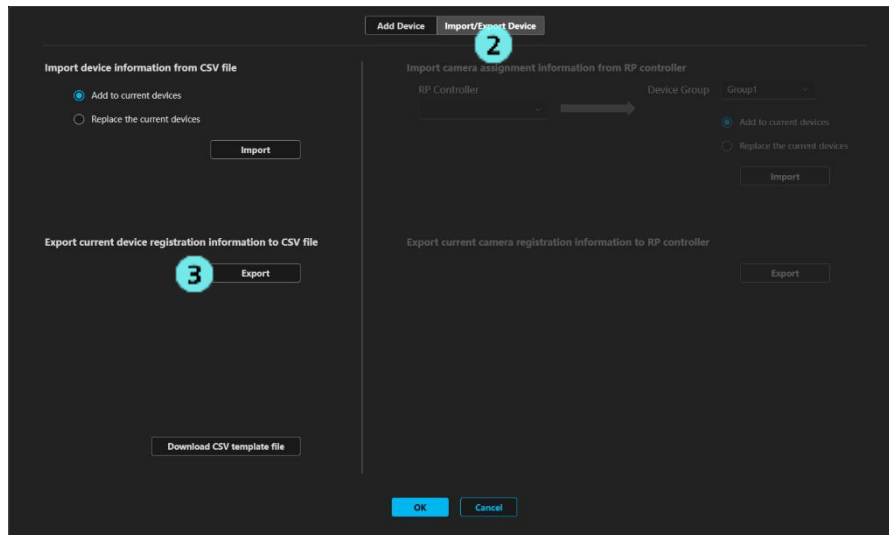
本ソフトウェアに登録されているカメラの情報をリモートカメラコントローラーにエクスポートして、リモートカメラコントローラーのカメラ登録を行うことができます。

詳細は「[カメラの登録情報をリモートカメラコントローラーにエクスポートする](#)」を参照ください。

デバイスの登録情報を CSV ファイルにエクスポートする

本ソフトウェアに登録されているデバイスの情報を CSV ファイルにエクスポートすることができます。

1. 「[デバイスの登録手順（GUI 上でデバイス情報を設定する場合）](#)」の 1.と 2.の手順に従ってデバイス管理画面を表示します。
2. デバイス管理画面の上部にある[Import/Export Device]タブをクリックします。



3. [Export current device registration information to CSV file]欄の[Export]ボタンをクリックすると、ダウンロードフォルダーに MPS_RegisteredDevices.csv ファイルがエクスポートされます。

<NOTE>

- ・ Group Name、Device Name、User ID、Password にカンマ(,) が含まれていた場合、カンマはピリオド(.)に変換されてエクスポートされます。

カメラの登録情報をリモートカメラコントローラーにエクスポートする

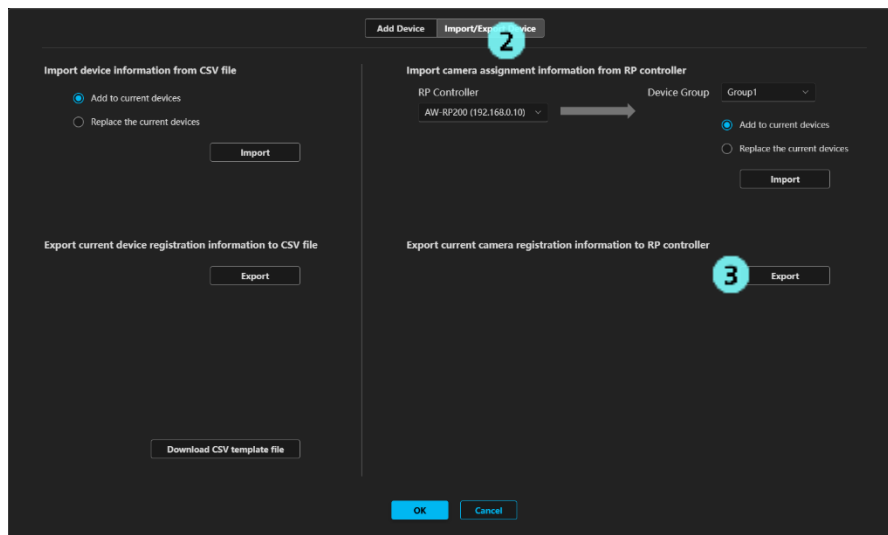
本ソフトウェアに登録されているカメラの情報をリモートカメラコントローラーにエクスポートして、リモートカメラコントローラーのカメラ登録を行うことができます。

■制約事項

- ・本操作は以下のリモートカメラコントローラーのみ対応しています。
AW-RP200
- ・本操作でエクスポートされるのは、本ソフトウェアで Device Type : PTZ Camera として登録されているカメラのみです。

■登録手順

1. 「[デバイスの登録手順（GUI 上でデバイス情報を設定する場合）](#)」の 1.と 2.の手順に従ってデバイス管理画面を表示します。
2. デバイス管理画面の上部にある [Import/Export Device] タブをクリックします。



3. [Export current camera registration information to RP Controller]欄の[Export]ボタンをクリックすると、エクスポート画面が表示されます。
4. エクスポート画面の[Device registration data of this software]欄には、本ソフトウェアに登録されている PTZ Camera の一覧が表示されます。エクスポートしたいカメラをチェックボックスで選択します。
5. [Destination]欄でエクスポート先の設定を行います。
 - ・ RP Controller
エクスポート先のリモートカメラコントローラーを選択します。
 - ・ Starting CAM No.
リモートカメラコントローラーにカメラを登録するときの開始番号を設定します。
ここで設定した番号からの連番でカメラ登録が行われます。
6. OK ボタンをクリックするとエクスポートが実行され、リモートカメラコントローラーにカメラが登録されます。

Device registration data of this software

4

	Group	No.	Name	Device Type	IPv4 Address	HTTP Port
☒	Group1	1	RH-D2	PTZ Camera	192.168.0.216	80
☒	Group1	2	AW-UE160	PTZ Camera	192.168.0.16	80
☒	Group1	3	AW-UE80	PTZ Camera	192.168.0.80	80
☒	Group1	4	AW-UE150	PTZ Camera	192.168.0.157	80
☒	Group1	5	DC-S1M2NT	PTZ Camera	192.168.0.202	80

Destination

5

ISP Controller AW-RP200 (192.168.0.10)

Starting CAM No.(1-196) 1

5

OK Cancel

<NOTE>

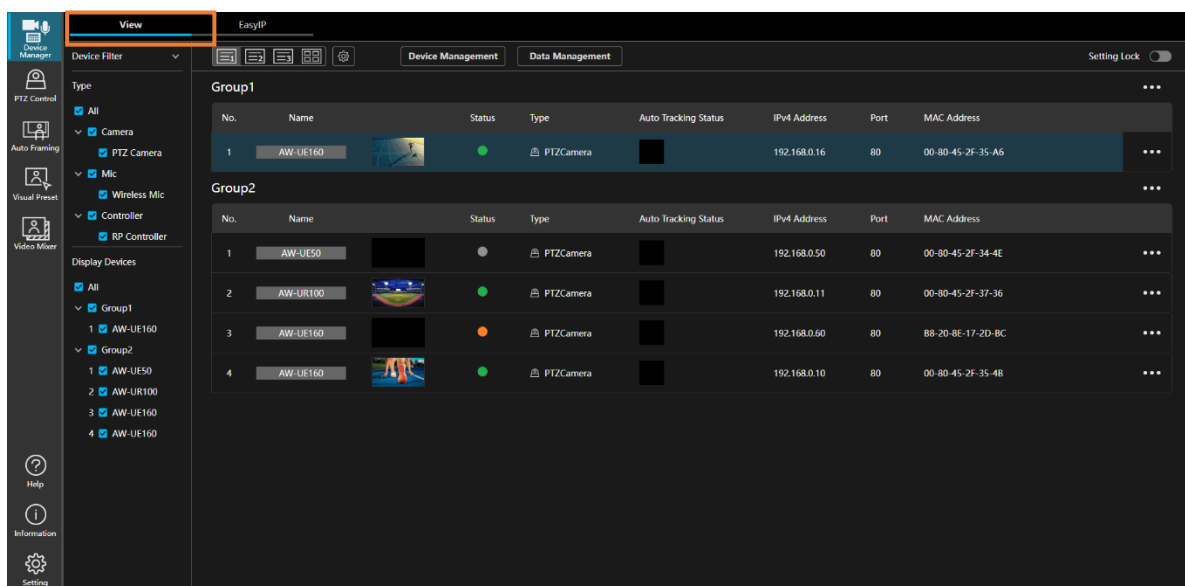
- ・エクスポートが実行されたとき、エクスポート先のカメラ登録情報はすべて上書きされます。

デバイスの一覧表示と設定値の変更

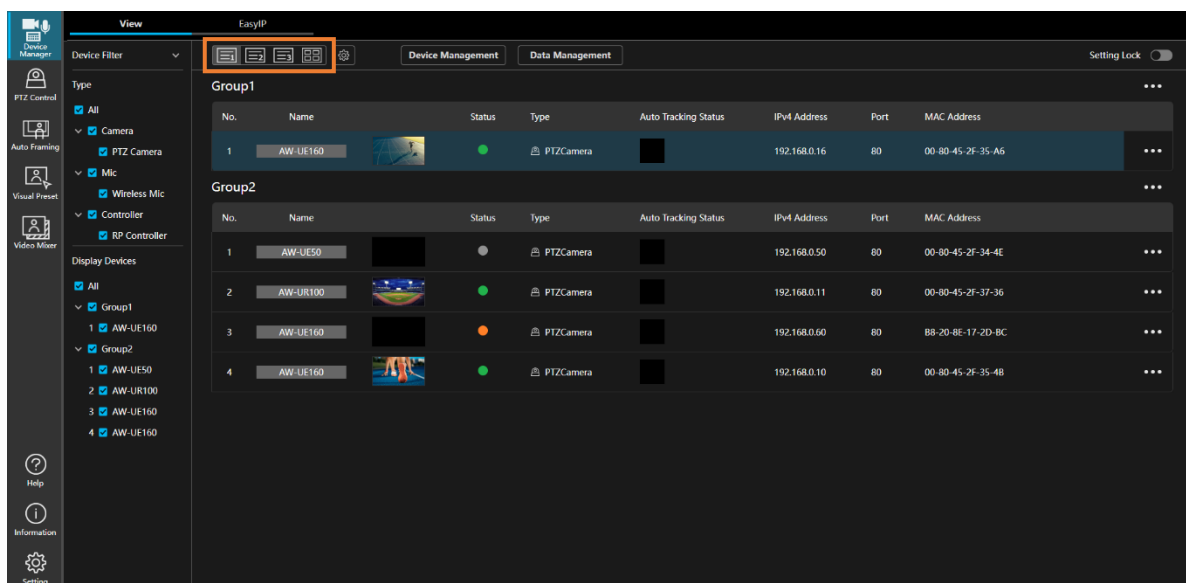
デバイスの一覧を表示する

登録されたデバイスの一覧は View 画面に表示されます。

画面左上の[View]タブをクリックすると View 画面が表示されます。



画面の  ボタンで、デバイスの一覧表示をリスト表示 1/リスト表示 2/リスト表示 3/サムネイル表示のどれで行うかを選択することができます。



リスト表示の説明

No.	Name	Status	Type	Auto Tracking Status	IP Address	Port	MAC Address	Image Capture Type
1	AW-UE150	Online	PTZ Camera	Tracking	192.168.0.1	80	20-C6-E8-EF-02-00	IP (50 fps)
2	AW-UE70	Online	PTZ Camera	Stopped	192.168.0.2	80	20-C6-E8-EF-02-01	IP (50 fps)

1. グループ名表示

デバイスが属するグループの名称を表示します。

2. グループメニュー表示ボタン

ボタンをクリックすると、そのグループに対して操作を行うためのグループメニューを表示します。
メニューの詳細は本書の「[グループメニューの操作](#)」を参照ください。

3. デバイス表示エリア

登録されているデバイスをグループ毎にリスト表示します。

リストに表示する項目はリスト表示 1／リスト表示 2／リスト表示 3 のそれぞれで設定を行うことができます。

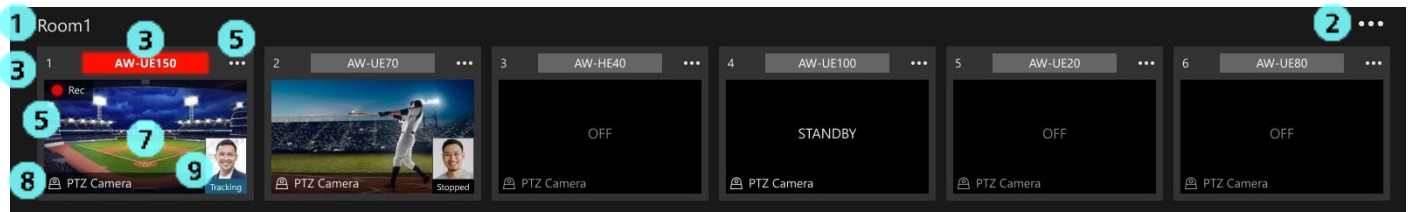
表示する項目の設定方法は「[リスト表示に表示する項目を設定する](#)」を参照ください。

また、表示できる項目の説明は「[リスト表示項目の説明](#)」を参照ください。

4. デバイスメニュー表示ボタン

ボタンをクリックするとデバイスに対して操作を行うためのデバイスメニューを表示します。
メニューの詳細は本書の「[デバイスメニューの操作](#)」を参照ください。

サムネイル表示の説明



1. グループ名表示
デバイスが属するグループの名称を表示します。
2. グループメニュー表示ボタン
ボタンをクリックすると、そのグループに対して操作を行うためのグループメニューを表示します。
メニューの詳細は本書の「[グループメニューの操作](#)」を参照ください。
3. No.
グループ内のデバイス管理番号を表示します。
4. Name
デバイスの名称を表示します。デバイス Type がカメラで、タリーランプが点灯している場合は背景色がタリーランプの色に変化します。
5. デバイスメニュー表示ボタン
ボタンをクリックするとデバイスに対して操作を行うためのデバイスメニューを表示します。
メニューの詳細は本書の「[デバイスメニューの操作](#)」を参照ください。
6. 記録状態表示
デバイスが映像記録中のとき、記録状態を表示します。
7. Thumbnail
デバイス Type がカメラの場合はカメラが撮影している映像を表示します。デバイス Type がカメラ以外の場合はデバイス Type に応じた画像が表示されます。
デバイスがスタンバイ状態のときは STANDBY 表示に、デバイスが接続されていない、もしくは電源 OFF の状態のときは OFF 表示になります。
8. Type
デバイスの Type（種類）を表示します。
9. Auto Tracking Status
顔認証用に登録されている顔を表示します。
デバイスが自動追尾実行中のとき、自動追尾の追尾状態（Tracking、Lost、Stopped）を表示します。

表示するデバイスを絞り込む

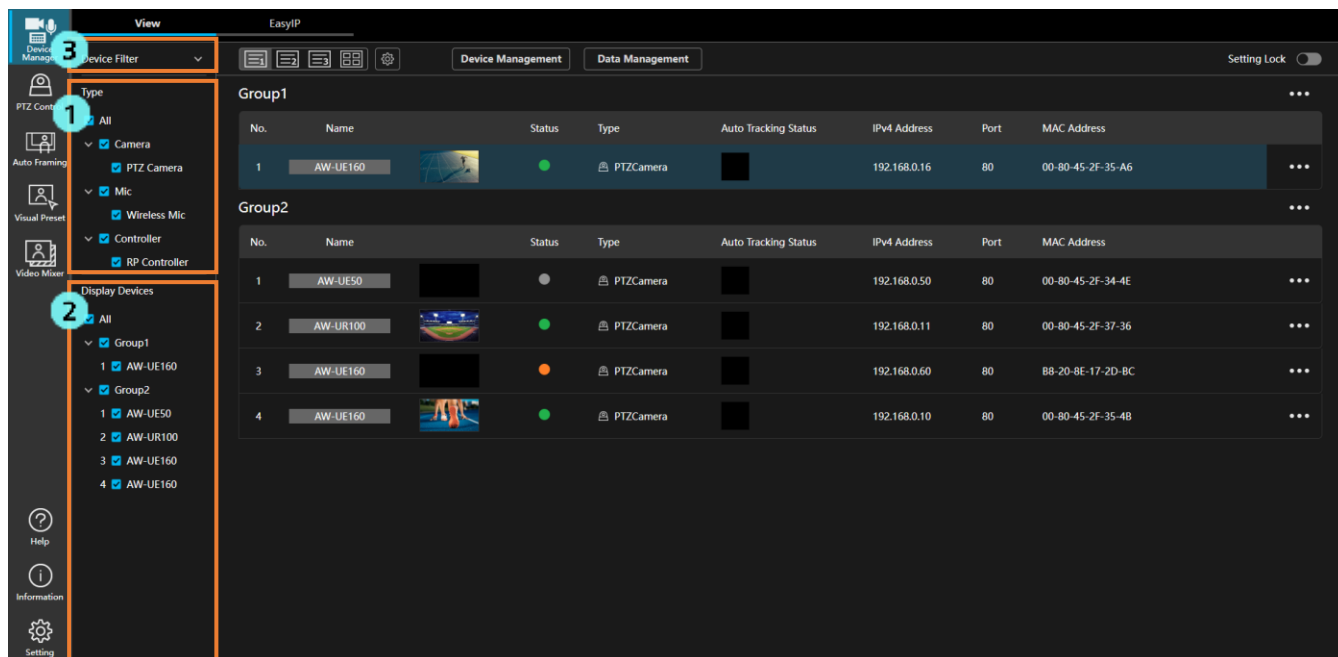
表示するデバイスを以下の条件で絞り込むことができます。

- ・デバイスの Type（種別）を指定して絞り込む

画面左の[Type]ツリー（下図の 1）でチェックを入れた Type のデバイスのみ画面に表示されます。

- ・個々のデバイスを指定して絞り込む

画面左の[Display Devices]ツリー（下図の 2）でチェックを入れたデバイスのみ画面に表示されます。



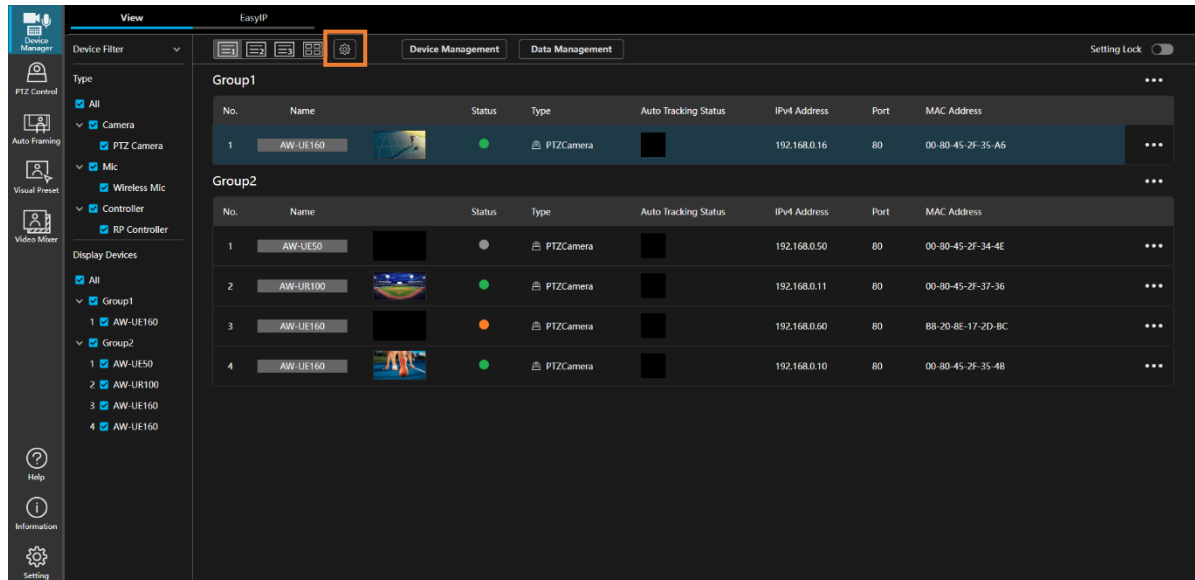
<NOTE>

- ・デバイスの絞り込みが不要な場合は、絞り込みツリーのタイトル部分（上図の 3）をクリックすることで絞り込みツリーの表示／非表示を切り替えることができます。

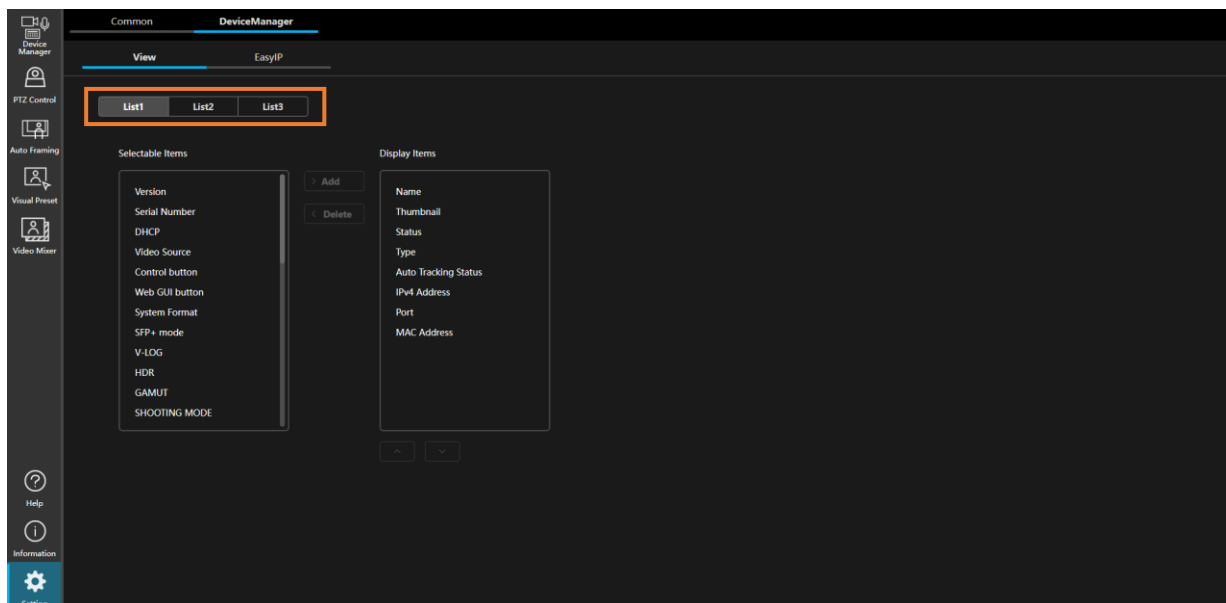
リスト表示に表示する項目を設定する

リスト表示 1／リスト表示 2／リスト表示 3 のそれぞれに対して、表示する項目を設定することができます。
表示する項目の設定は以下の手順で行います。

1. 画面上部にある設定ボタンをクリックすると、Setting 画面に移動します。



2. List1 / List2 / List3 のタブで、リスト表示 1／リスト表示 2／リスト表示 3 のどの表示を設定するかを選択します。



3. 項目を非表示対象から表示対象に変更したい場合は[Selectable Items]内の項目を選択して[> Add]ボタンをクリックします。項目が[Display Items]に移動して表示対象になります。
項目を表示対象から非表示対象に変更したい場合は[Display Items]内の項目を選択して[< Delete]ボタンを

クリックします。項目が[Selectable Items]に移動して非表示対象になります。

また、[Display Items]で項目を選択して[Display Items]の下にある上下ボタンをクリックすることで、項目の表示順を変更することができます。

リスト表示項目の説明

リスト表示に表示できる項目は以下になります。

設定値変更の列に○が付いている項目は、リスト表示上で設定値の変更が可能です。詳細は「[リスト表示上でデバイスの設定値を変更する](#)」を参照ください。

			初期表示		
項目名	説明	設定値 変更	List1	List2	List3
Name	デバイスの名称を表示します。デバイス Type がカメラで、タリーランプが点灯している場合は背景色がタリーランプの色に変化します。		○	○	○
Cam Model No.	カメラの品番を表示します。		○		
CCU Model No.	カメラが CCU 経由で接続されている場合、CCU の品番を表示します。		○		
Thumbnail	デバイス Type がカメラの場合はカメラが撮影している映像を表示します。デバイス Type がカメラ以外の場合はデバイス Type に応じた画像が表示されます。		○		
Status	デバイスの接続状態を色で表示します。 緑：デバイスが接続され、かつ稼働している状態です。 オレンジ：デバイスは接続されていますが、スタンバイの状態です。 グレー：デバイスが接続されていない、もしくは電源 OFF の状態です。		○		
Type	デバイスの Type（種類）を表示します。		○		
Auto Tracking Status	デバイスの自動追尾状態と顔認証用に登録されている顔を表示します。 Tracking：追尾対象を追尾中の状態です。 Lost：追尾対象を見失っている状態です。 Stopped：追尾対象が設定されておらず、停止中の状態です。		○		
IPv4 Address	ネットワークアドレスを表示します。		○		
Port	HTTP ポート番号を表示します。		○		
TCP Port	TCP ポート番号を表示します。				
MAC Address	MAC アドレスを表示します。		○		
Version	ファームウェアバージョンを表示します。				
Serial Number	シリアル番号を表示します。				
DHCP	DHCP 設定を表示します。				
Video Source	映像ソースの種類を表示します。				

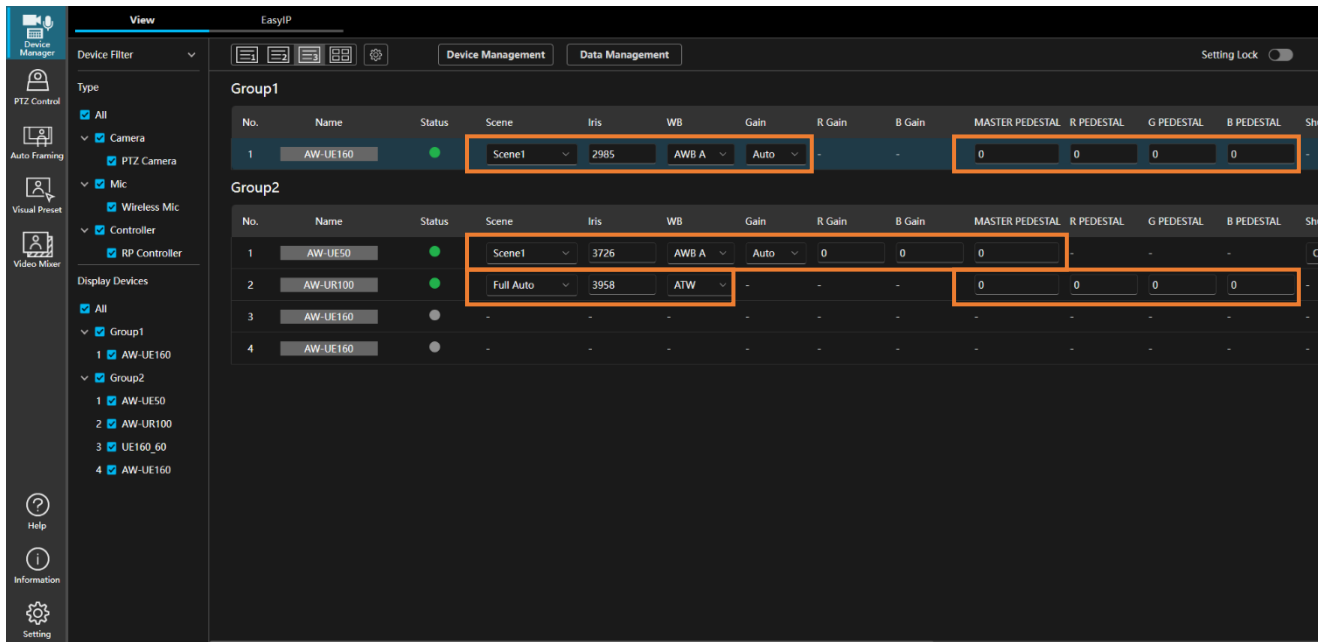
Control Button	Control ボタンを表示します。 ボタンをクリックするとデバイスの操作画面が表示されます。			○	
Web GUI Button	Web GUI ボタンを表示します。 ボタンをクリックするとデバイスの Web GUI 画面が表示されます。			○	
System Format	System Format の設定値を表示します。	○		○	
SFP+ mode	SFP+ mode の設定値を表示します。	○		○	
V-LOG	V-LOG の設定値を表示します。	○		○	
HDR	HDR の設定値を表示します。	○		○	
GAMUT	GAMUT の設定値を表示します。	○		○	
SHOOTING MODE	SHOOTING MODE の設定値を表示します。	○		○	
SYNC REF SIGNAL	SYNC REF SIGNAL の設定値を表示します。	○		○	
GENLOCK H PHASE COARSE	GENLOCK H PHASE COARSE の設定値を表示します。	○		○	
GENLOCK H PHASE FINE	GENLOCK H PHASE FINE の設定値を表示します。	○		○	
Streaming Mode	ストリーミングモードの設定値を表示します。	○		○	
Streaming Resolution	ストリーミング解像度の設定値を表示します。	○		○	
Streaming Frame Rate	ストリーミングフレームレートの設定値を表示します。	○		○	
Streaming Bit Rate	ストリーミングビットレートの設定値を表示します。	○		○	
Scene	Scene の設定値を表示します。	○			○
Iris	Iris の設定値を表示します。	○			○
WB	WB モードの設定値を表示します。	○			○
Gain	Gain の設定値を表示します。	○			○
R Gain	R Gain の設定値を表示します。	○			○
B Gain	B Gain の設定値を表示します。	○			○
MASTER PEDESTAL	MASTER PEDESTAL の設定値を表示します。	○			○
R PEDESTAL	R PEDESTAL の設定値を表示します。	○			○
G PEDESTAL	G PEDESTAL の設定値を表示します。	○			○
B PEDESTAL	B PEDESTAL の設定値を表示します。	○			○
Shutter	Shutter の設定値を表示します。	○			○
ND Filter	ND Filter の設定値を表示します。	○			○
Color Collect ON/OFF	Color Collect ON/OFF の設定値を表示します。	○			○
Color Collect Table	Color Collect Table の設定値を表示します。	○			○
Gamma ON/OFF	Gamma ON/OFF の設定値を表示します。	○			○
Gamma Mode	Gamma Mode の設定値を表示します。	○			○

<NOTE>

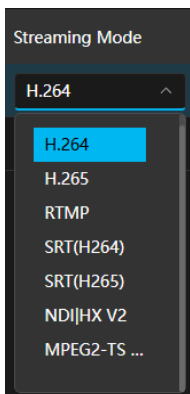
- ・デバイスが対応する表示項目は機種毎に異なります。デバイスが対応していない表示項目は — で表示されます。
- ・スタジオカメラの[SHUTTER SELECT BY ROP]設定が[SELECT]のときは、Shutter の操作はできません。

リスト表示上でデバイスの設定値を変更する

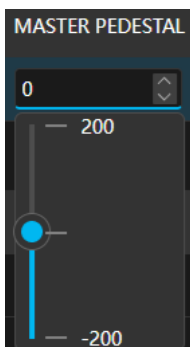
設定値変更に対応している項目は、ボックスの形で設定値が表示されます。
ボックスの部分をクリックすることで設定値を変更することができます。



設定値が一覧から選択する形式の場合は、表示される一覧から値を選択します。



設定値が値を設定する形式の場合は、スライダー／ボックス右端の増減ボタン／ボックスに値を直接入力 of いずれかの方法で値を設定します。



<NOTE>

- ・アカウント権限が User の場合は、設定値の変更はできません。

- ・一部の項目は、設定値の変更によってデバイスの再起動が発生する場合があります。再起動が発生した場合、表示が更新されるまでに数分程度の時間を要します。

再起動が発生する例：

SFP+ mode を変更した場合

Streaming Mode を NDI|HX V2 以外から NDI|HX V2 に変更した場合

Streaming Mode を NDI|HX V2 から NDI|HX V2 以外に変更した場合

- ・以下の項目が本アプリ以外で設定が変更されたとき、本アプリの表示に反映されない場合があります。

Priority Mode

System Format

Streaming Resolution、Streaming Frame Rate、Streaming Bit Rate

- ・ Streaming Resolution、Streaming Frame Rate、Streaming Bit Rate の設定は CH1 にのみ適用されます。
- ・ AW-UE20/HE20、AW-UE5、AW-UE4 では、Streaming Bit Rate の設定はできません。
- ・ AW-UE20/HE20、AW-UE5、AW-UE4 で System Format、Streaming Mode、Streaming Resolution、Streaming Frame Rate を変更した場合、変更が反映されるまでに時間を要する場合があります。
- ・ Type：Studio Camera のデバイスでは、以下の制約事項があります。

すべての機種：以下の項目の設定値変更はできません。

System Format、HDR、ND Filter、WB

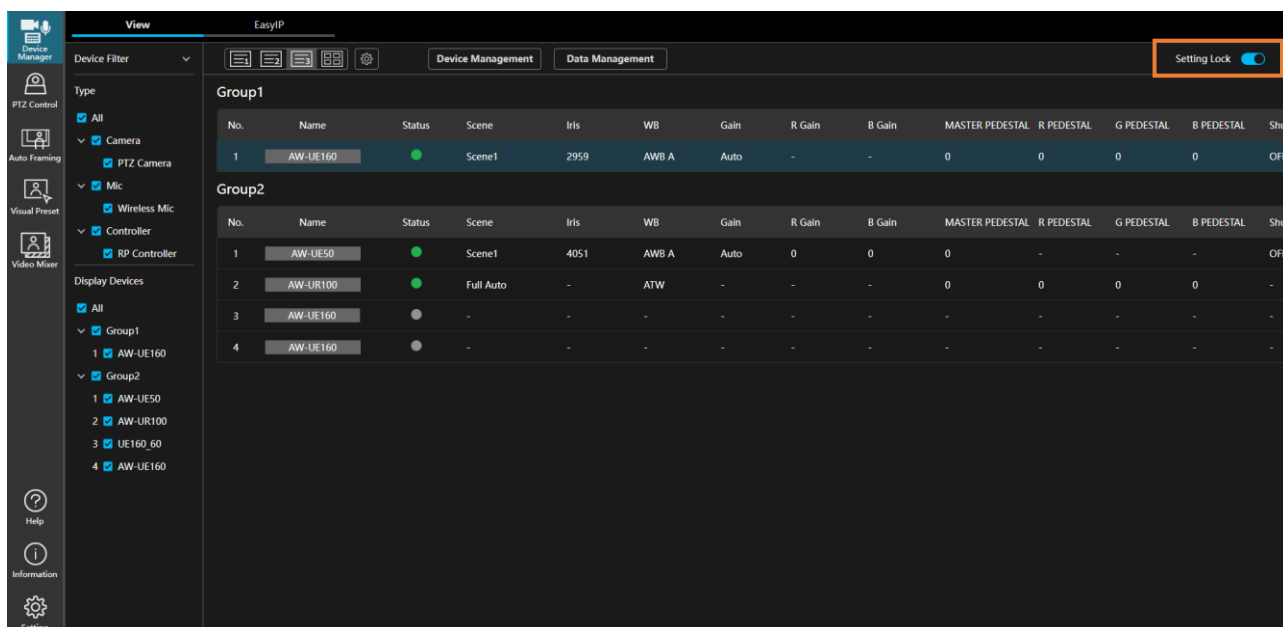
AK-UC4000/AK-UC3300：以下の項目の設定値変更はできません。

V-Log、GAMUT

リスト表示上でのデバイスの設定値をロックする

画面右上の[Setting Lock]ボタンを ON にするとリスト表示上のすべての設定値がロックされます。ロック状態では設定値は表示のみの状態になり、本画面からの変更ができなくなります（PTZ Control 画面など他の画面からの設定や、デバイスの Web 画面からの設定は可能です）

[Setting Lock] ボタンを OFF にすると設定値のロックが解除され、設定値変更が可能な状態に戻ります。



デバイスの設定ファイル操作

設定ファイル操作について

設定ファイル操作では以下のことを行うことができます。

- ・設定ファイルの Save

デバイスの設定ファイルを PC 上に保存することができます。

- ・設定ファイルの Copy

デバイスの設定ファイルの内容を他の同一機種のデバイスにコピーすることができます。

PC 上に保存されている設定ファイルの内容を同一機種のデバイスにコピーすることができます。

<NOTE>

・クライアント PC から操作を行う場合は、事前に Web Plugin（クライアント PC 用ツール）のインストールを行っておく必要があります。弊社 Web サイト（https://eww.pass.panasonic.co.jp/pro-av/support/content/download/JP/jp2main/mps_client_tool_j.htm）からダウンロードしてインストールを行ってください。

対応するデバイス

本操作に対応しているデバイスは以下となります。

パナソニック製 リモートカメラ

- ・ AW-UE160/AW-UE163
- ・ AW-UE150A/AW-UE158/ AW-UE148
- ・ AW-UE150/AW-UE155/AW-UN145
- ・ AW-UE100
- ・ AW-UE80/AW-UE83
- ・ AW-UE50/AW-UE53
- ・ AW-UE40/AW-UE43
- ・ AW-UE30
- ・ AW-HE145
- ・ AW-UR100

パナソニック製 リモートカメラコントローラー

- ・ AW-RP200

対応するデータ

Save/Copy のいずれも、以下のデータのみ対応しています。*には任意の数字が入ります。

パナソニック製 リモートカメラ

- Camera (SCENE*)
- Camera (USER*)
- Camera (PRESET)
- Camera (FULL AUTO)
- Camera (SYSTEM)

パナソニック製 リモートカメラコントローラー

- RP SETTING
- TMEM
- MACRO
- CONNECT SETTING
- CAM INFORMATION
- STREAM DECK
- ALL SETTING

PC 上に保存した設定ファイルの取り扱いについて

Save 操作で PC 上に保存したファイルの拡張子を変更しないでください。

拡張子を変更すると、本アプリの Copy 操作やカメラ Web 画面の Upload で使用できなくなります。

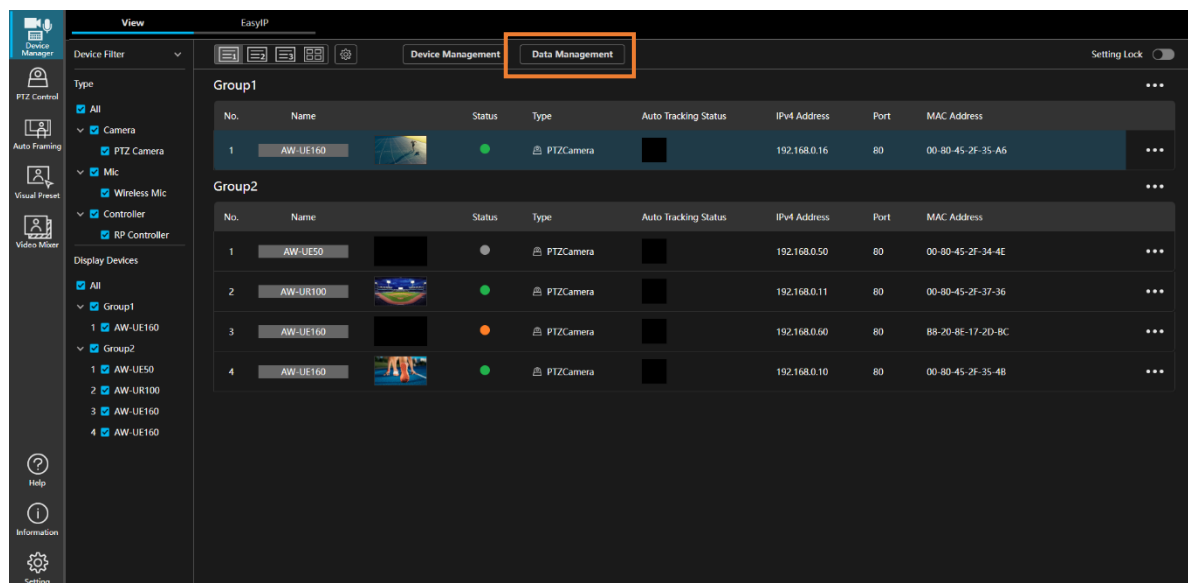
また、ファイル名を変更した場合、本アプリの Copy 操作には使用できますが、デバイス Web 画面の Upload で使用できなくなる場合があります。

設定ファイルの Save を行う

Save では、デバイスの設定ファイルを PC 上に保存することができます。

操作は以下の手順で行います。

1. 画面上部の[Data Management]ボタンをクリックします。



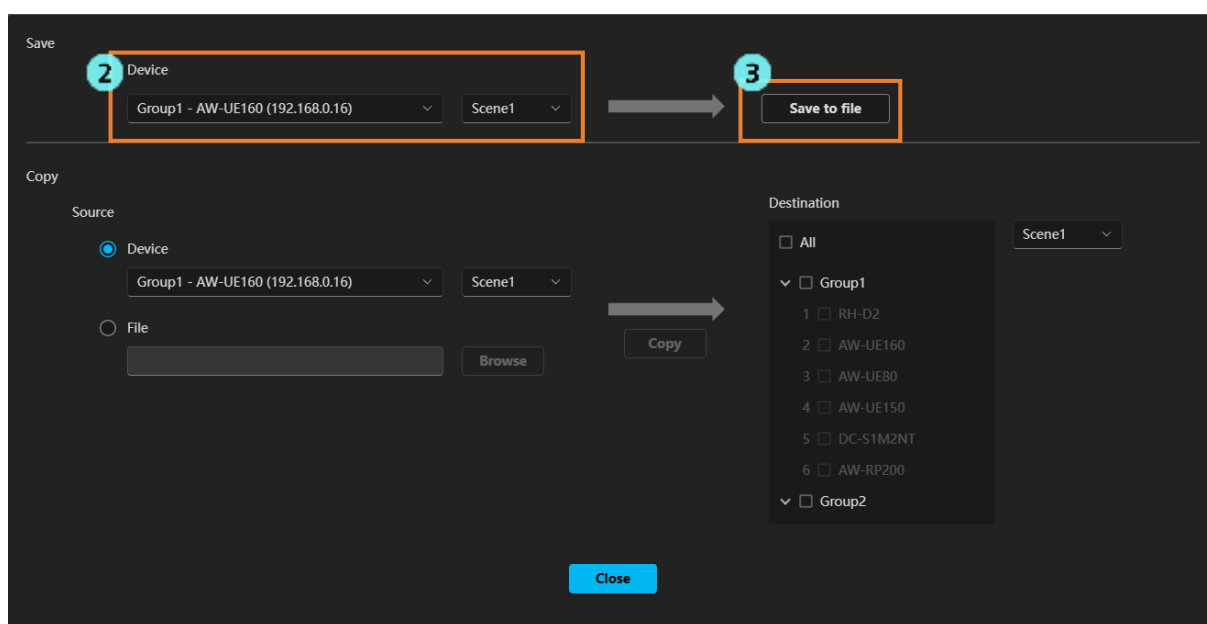
2. 設定ファイル管理画面が表示されます。

Save 欄の Device で、保存対象のデバイスとデータを選択します。

3. [Save to file]ボタンをクリックすると保存先を選択するダイアログが表示されます。

保存先を選択して OK ボタンをクリックすると、設定ファイルの保存が行われます。

※[Save to file]ボタンクリック時に SceneManagementWebProgram を開くかどうかの許可確認メッセージが表示された場合は、許可してください。



設定ファイルの Copy を行う

Copy では、デバイスの設定ファイルの内容を他のデバイスにコピー、または PC 上に保存されている設定ファイルの内容をデバイスにコピーすることができます。

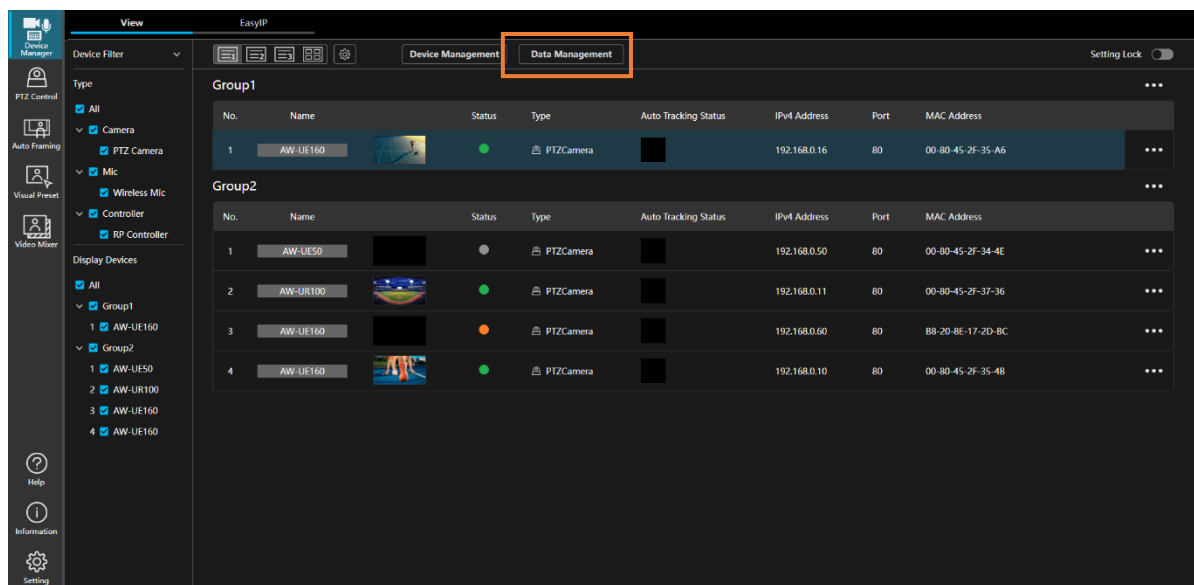
コピーは同時に複数のデバイスに対して行うことができます。

※コピーできるのは同一機種間に限られます。異なる機種間のコピーはできません。

※コピーが完了した後にデバイスの再起動が発生する場合があります。

操作は以下の手順で行います。

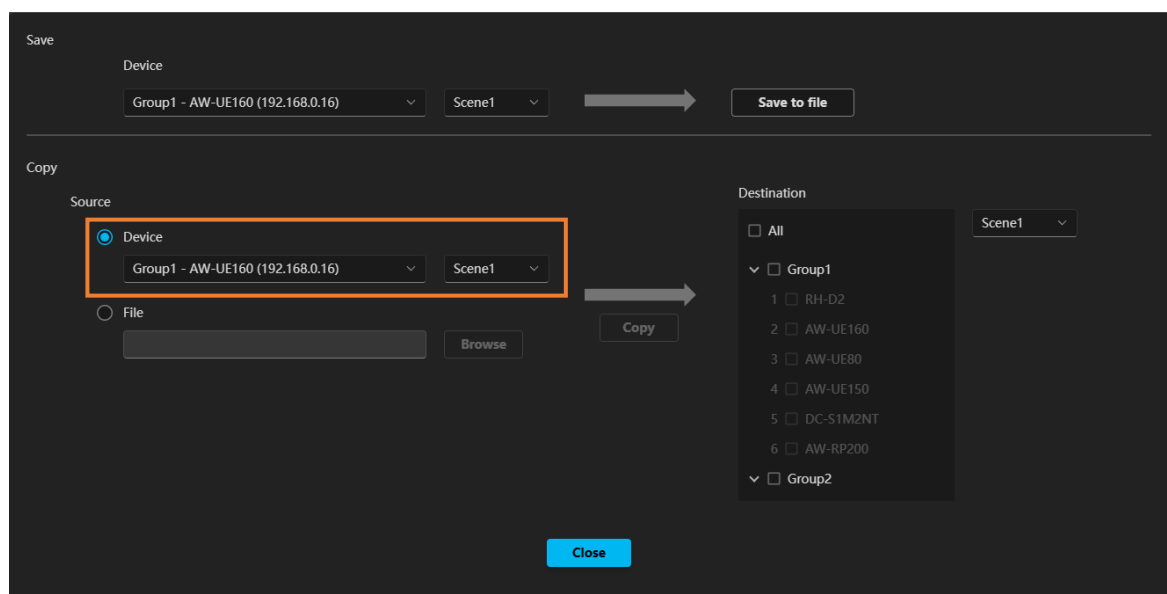
1. 画面上部の[Data Management]ボタンをクリックします。



2. 設定ファイル管理画面が表示されます。

- ・デバイスからコピーを行う場合

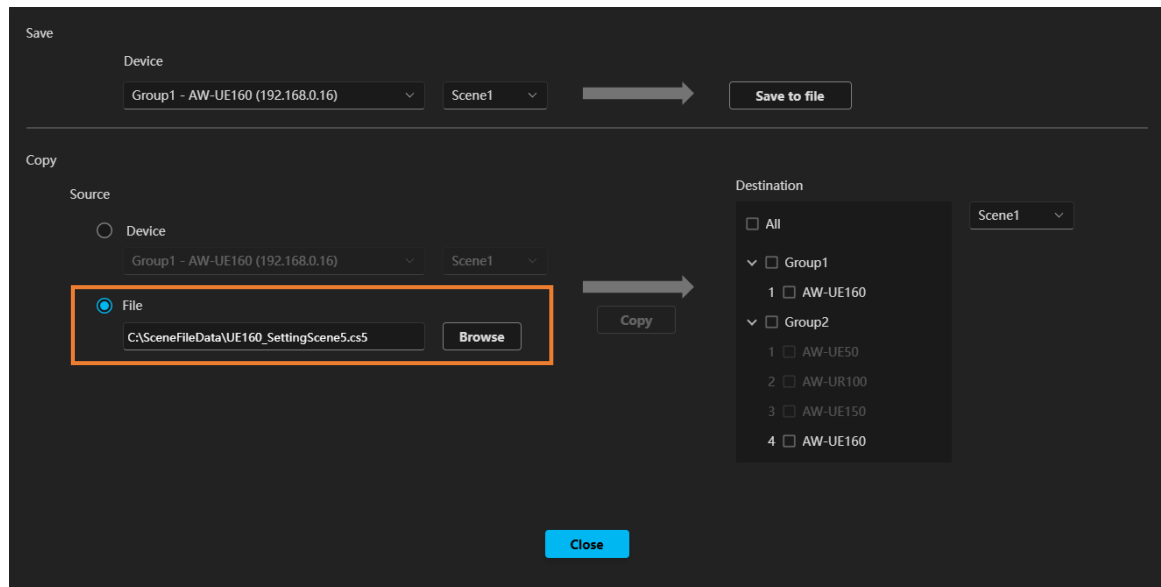
Copy 欄の Source で Device を選択して、コピー元のデバイスとデータを選択します。



- ・ファイルからコピーを行う場合

Copy 欄の Source で File を選択して[Browse]ボタンをクリックします。ファイルを選択するダイアログが表示されますので、保存された設定ファイルを選択して OK ボタンをクリックします。

※[Browse]ボタンクリック時に SceneManagementWebProgram を開くかどうかの許可確認メッセージが表示された場合は、許可してください。

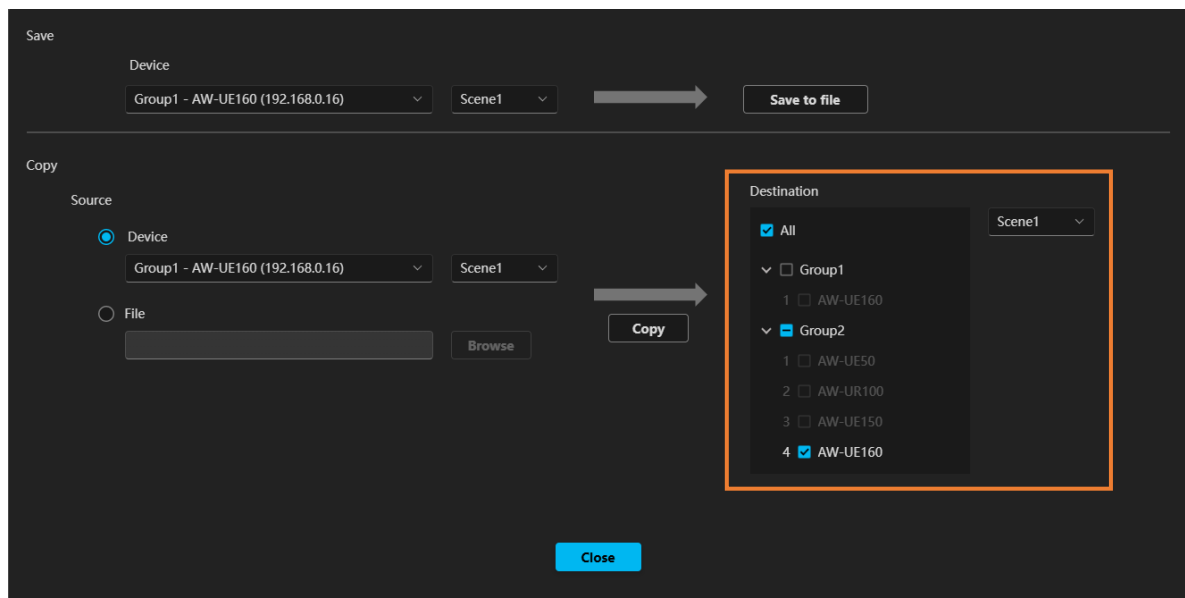


3. Destination 欄でコピー先のデバイスとデータを選択します。

デバイスはツリーのデバイス名先頭のチェックを ON にして選択します。

- ・コピー元と同一機種のデバイスのみ選択できます。
- ・複数のデバイスにチェックを入れると、複数のデバイスに対して同時コピーが行われます。

データはコピー元と同一種別のデータのみ選択できます。



4. [Copy]ボタンをクリックするとコピー開始の確認メッセージが表示され、OK をクリックするとコピーが実行されます。

デバイスや動作環境によっては、コピー完了まで数分程度の時間を要する場合があります。

Save

Device

Group1 - AW-UE160 (192.168.0.16)

Scene1

→

Save to file

Copy

Source

☒ Device

Group1 - AW-UE160 (192.168.0.16)

Scene1

☐ File

Browse

→

Copy

Destination

☒ All

☐ Group1

1 ☐ AW-UE160

☒ Group2

1 ☐ AW-UE50

2 ☐ AW-UR100

3 ☐ AW-UE150

4 ☒ AW-UE160

Scene1

Close

コピー中およびコピー完了時は以下のような画面が表示されます。

コピーが正常に完了したデバイスは[List of devices successfully]に、コピーが正常に完了しなかったデバイスは[List of devices that failed]に表示されます。

Copying to device

The copy process completed successfully.

List of devices successfully

No.	IPv4 Address	Name	Mac Address
1	192.168.0.16	AW-UE160	00-80-45-2F-35-A6

List of devices that failed

No.	IPv4 Address	Name	Mac Address
-----	--------------	------	-------------

Close

デバイスメニューの操作

デバイスメニューを表示する

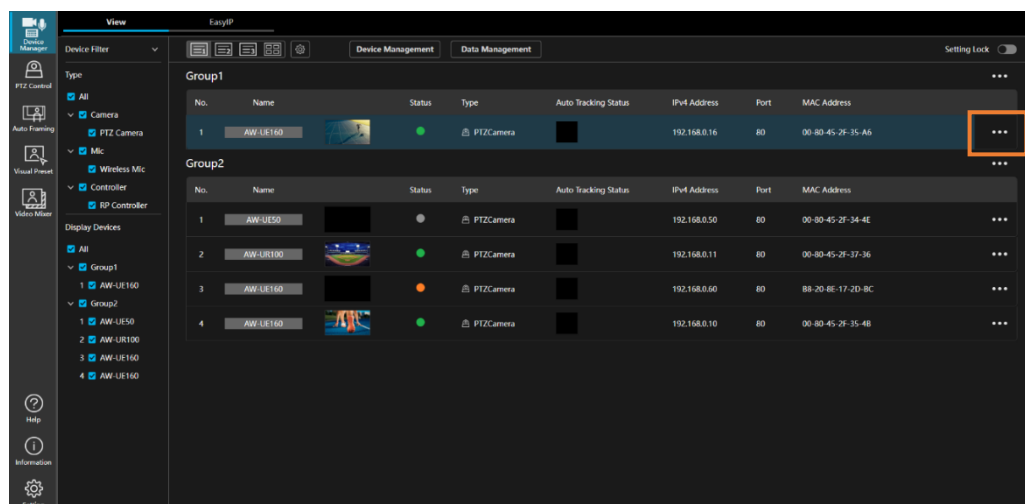
デバイスに対する操作はデバイスメニューから行います。

以下の手順でデバイスメニューを表示します。

1. View 画面で操作対象のデバイスを選択します。
2. 選択したデバイスのデバイスメニュー表示ボタンをクリックします。

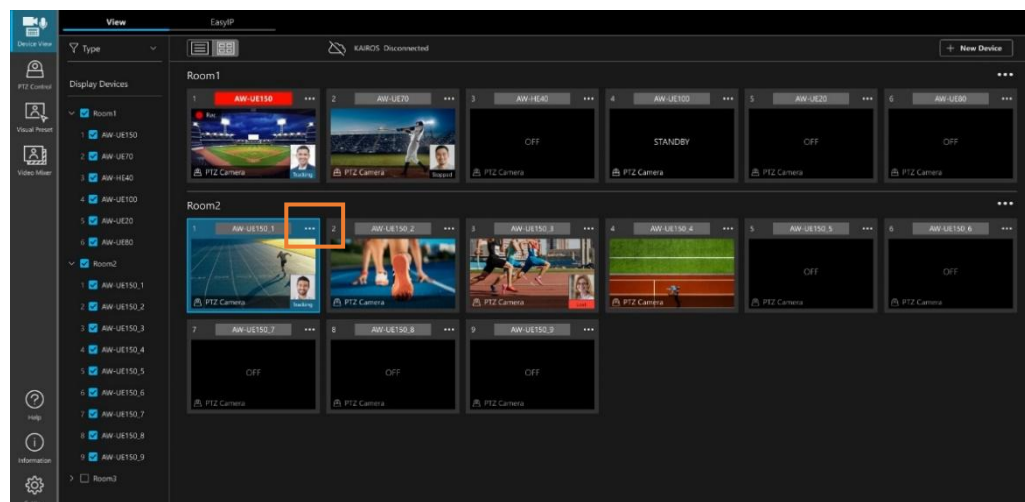
・リスト表示のとき

デバイス表示の右端にある…ボタンをクリックします。

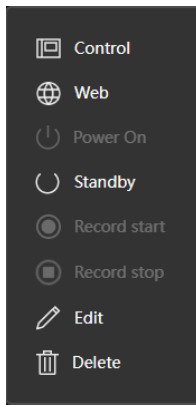


・サムネイル表示のとき

サムネイル表示の右上にある…ボタンをクリックします。

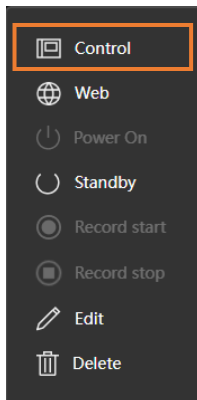


3. デバイスメニューが表示されます。



デバイスの操作画面を開く

1. 前節「[デバイスメニューを表示する](#)」の内容に従ってデバイスメニューを表示します。
2. デバイスメニューの[Control]を選択します。



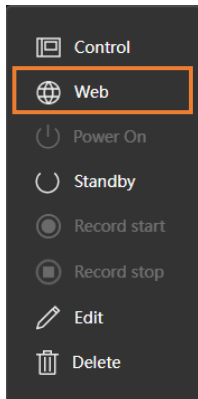
3. 選択されたデバイスの Type に応じた操作画面に切り替わります。
Type がリモートカメラのときは PTZ Control 機能の画面に切り替わります。

<NOTE>

- ・デバイスの Type によっては操作画面を持たないため、画面が切り替わらない場合があります。

デバイスの Web 画面を開く

1. 前節「[デバイスメニューを表示する](#)」の内容に従ってデバイスメニューを表示します。
2. デバイスメニューの[Web]を選択します。



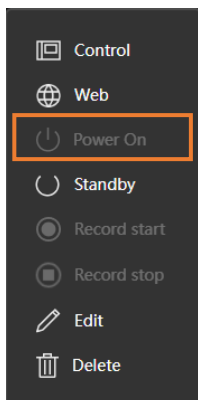
3. 選択されたデバイスの Web 画面が Web ブラウザに表示されます。

<NOTE>

- ・ Web 画面を持たないデバイスの場合は、[Web]項目が無効となり選択できません。

デバイスの電源を ON にする

1. 前節「[デバイスメニューを表示する](#)」の内容に従ってデバイスメニューを表示します。
2. デバイスメニューの[Power ON]を選択します。



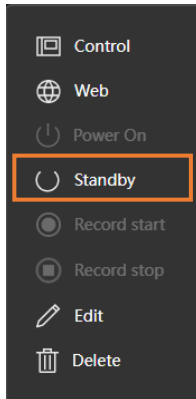
3. 選択されたデバイスの電源が ON になります。

<NOTE>

- ・ 電源管理機能を持たないデバイスの場合は、[Power ON]項目が無効となり選択できません。
- ・ デバイス Type によっては、電源 ON 状態に移行した後の動作を設定することができます。詳細は本節の「[デバイスの登録情報・設定を変更する](#)」を参照ください。

デバイスをスタンバイ状態にする

1. 前節「[デバイスメニューを表示する](#)」の内容に従ってデバイスメニューを表示します。
2. デバイスメニューの[Standby]を選択します。



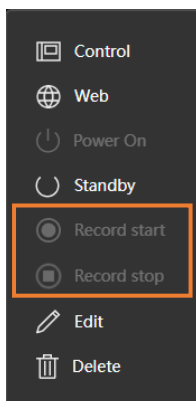
3. 選択されたデバイスがスタンバイ状態になります。

<NOTE>

- ・電源管理機能を持たないデバイスの場合は、[Standby]項目が無効となり選択できません。
- ・デバイス Type によっては、スタンバイ状態に移行する前の動作を設定することができます。詳細は本節の「[デバイスの登録情報・設定を変更する](#)」を参照ください。

デバイスの映像記録を開始／停止する

1. 前節「[デバイスメニューを表示する](#)」の内容に従ってデバイスメニューを表示します。
2. 映像記録を開始するときはデバイスメニューの[Record start]を、映像記録を停止するときはデバイスメニューの[Record stop]を選択します。



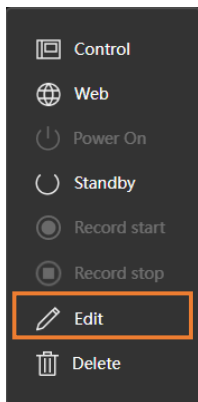
3. 選択されたデバイスの映像記録が開始／停止されます。

<NOTE>

- ・映像記録機能を持たないデバイスの場合は、[Record start] [Record stop]項目が無効となり選択できません。

デバイスの登録情報・設定を変更する

1. 前節「[デバイスメニューを表示する](#)」の内容に従ってデバイスメニューを表示します。
2. デバイスメニューの[Edit]を選択します。



3. デバイス設定画面が表示されます。

設定画面上部のタブで設定内容を切り替えることができます（切り替え可能な項目はデバイスの Type によって異なります）

内容を変更して OK ボタンをクリックすると変更が反映されます。

Device Info タブの設定項目

The screenshot shows the 'Edit Device' window with the 'Device Info' tab selected. It contains various input fields and settings. Numbered callouts are placed over the interface: 1) Group dropdown, 2) Type dropdown, 3) Name text field, 3) IP Address text field, 4) HTTP Port text field, 6) TCP Port text field, 7) User Name text field, 8) Password text field, 9) Preset Color selection area, 10) Operation section with radio buttons for 'Facing the front', 'Move to preset position', and 'Do nothing', 11) Auto Tracking Setting button, and 12) OK and Cancel buttons at the bottom.

1) Group

デバイスが所属するグループを設定します。

2) Type

デバイスの Type を表示します。

3) Name

デバイスの表示名を設定します。

4) IP Address

デバイスの IPv4 アドレスを表示します。

5) HTTP Port

デバイスの HTTP ポート番号を表示します。

6) TCP Port

デバイス Type が Studio Camera のとき、TCP ポート番号を表示します。

7) User Name

デバイスのアカウント名を設定します。

8) Password

デバイスのパスワードを設定します。

9) Preset Color

本ソフトウェアの PTZ Control 機能で登録済プリセットを表示するときの表示色を設定します。

10) Operation

・ After Power ON

本ソフトウェアからリモートカメラの電源を ON にする操作を行ったとき、電源 ON 状態移行後に行う動作を設定します。

Facing the front：カメラを正面に向けます。

Move to the preset position：指定されたプリセット番号を呼び出します。

Do nothing：何も動作を行いません。

・ Before Standby

本ソフトウェアからリモートカメラをスタンバイ状態にする操作を行ったとき、スタンバイ移行前に行う動作を設定します。

Facing the front：カメラを正面に向けます。

Move to the preset position：指定されたプリセット番号を呼び出します。

Do nothing：何も動作を行いません。

11) Auto Tracking Setting

自動追尾の設定ダイアログを表示します。

12) OK/Cancel ボタン

OK ボタンをクリックすると変更を反映して本画面を閉じます。

Cancel ボタンをクリックすると変更を破棄して本画面を閉じます。

<NOTE>

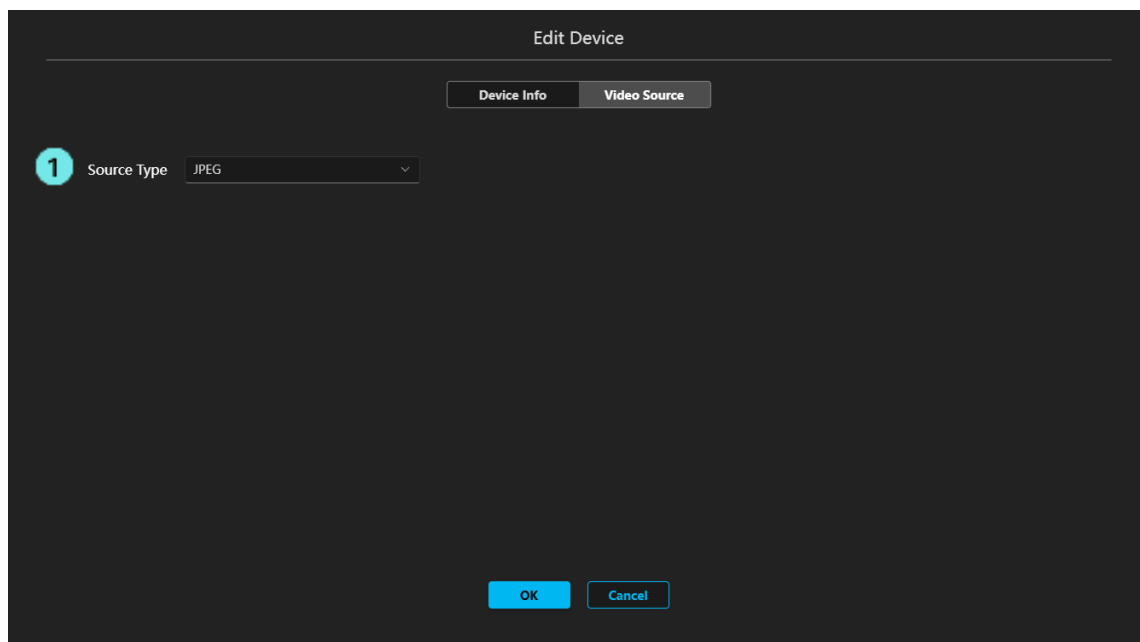
・ 2)、4)、5)、6)の項目は表示のみで、設定することはできません。

・ 9)～11)の項目はデバイス Type が PTZ Camera のときのみ表示されます。

・ PTZ Control 機能の詳細は PTZ Control 機能の操作説明書を参照してください。PTZ Control 機能の操作説明書は[Help]ボタンをクリックして、メニューから[PTZ Control]を選択すると表示されます。

Video Source タブの設定項目

本設定項目はデバイス Type が PTZ Camera のときのみ選択可能です。



1) Source Type

PTZ Control 機能や Auto Framing 機能でカメラから映像を取得するときの方式を選択します。

JPEG：JPEG 画像を 1 枚ずつカメラから取得します。

映像取得に使用するネットワークの帯域を抑えることができますが、HTTP リクエストの発行回数が多くなるため、動作環境によってはファイヤーウォールアプリ等でブロックされることがあります。

Motion JPEG：JPEG 画像を映像ストリーミングで取得します。

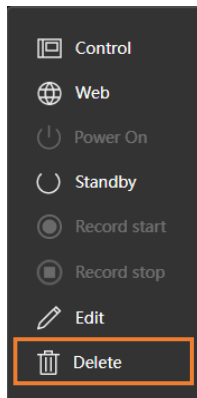
映像取得に使用するネットワークの帯域は増えますが、HTTP リクエストの発行回数が少なくなるため、ファイヤーウォールアプリ等でブロックされる可能性が低くなります。

<NOTE>

PTZ Control 機能や Auto Framing 機能を使用中にカメラの映像がフリーズする、カメラの操作が効かなくなるなどの症状が見られた場合は、本設定を Motion JPEG にすることで症状が改善される場合があります。

デバイスを削除する

1. 前節「[デバイスメニューを表示する](#)」の内容に従ってデバイスメニューを表示します。
2. デバイスメニューの[Delete]を選択します。



3. 削除確認メッセージが表示されます。[OK]をクリックすると選択されたデバイスが削除されます。

グループメニューの操作

グループメニューを表示する

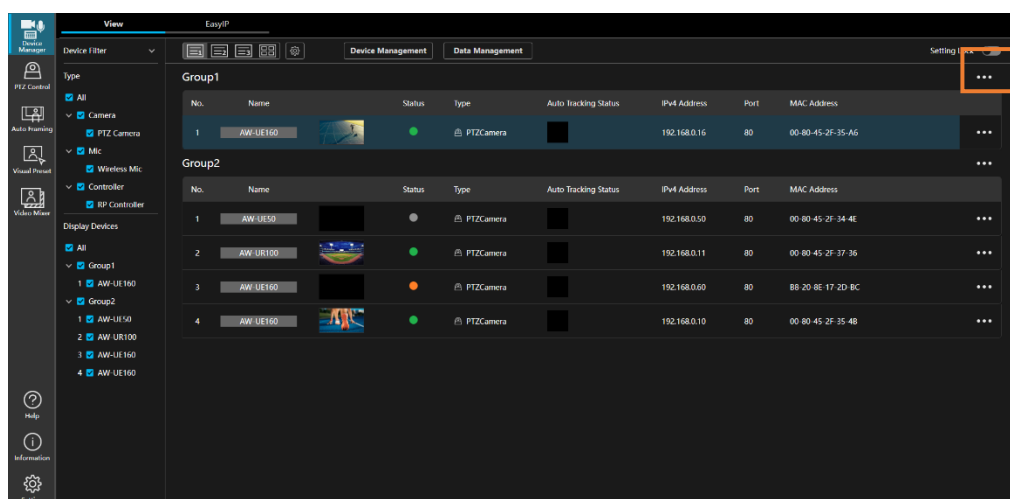
グループに対する操作はグループメニューから行います。

以下の手順でグループメニューを表示します。

1. View 画面で、操作対象のグループ名表示の右端にあるグループメニュー表示ボタンをクリックします。

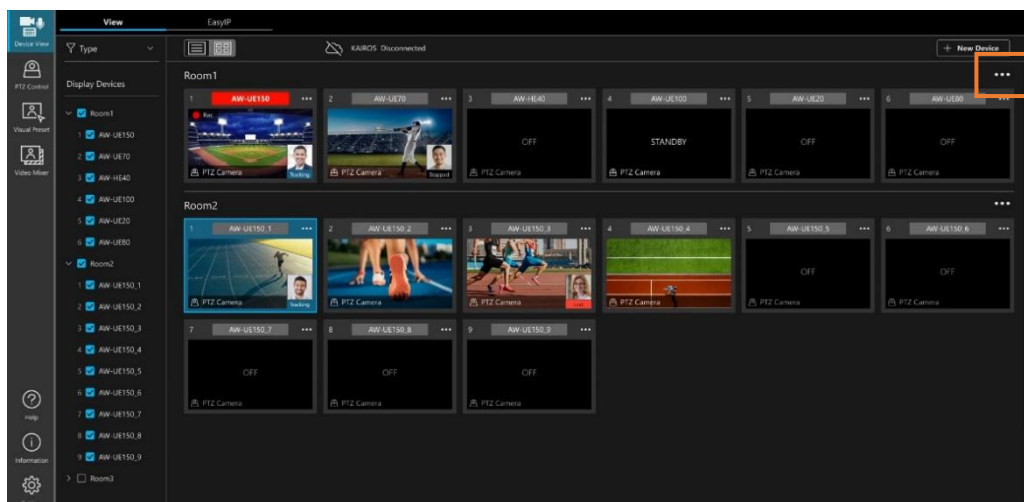
- ・リスト表示のとき

グループ名表示の右端にある…ボタンをクリックします。

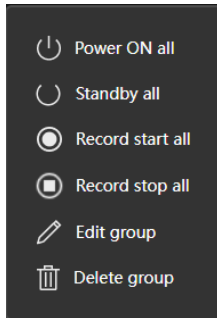


- ・サムネイル表示のとき

グループ名表示の右端にある…ボタンをクリックします。

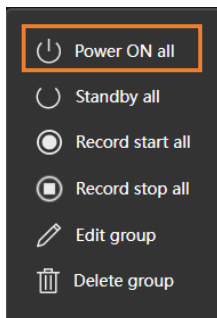


2. グループメニューが表示されます。



グループ内の全デバイスの電源を ON にする

1. 前節「[グループメニューを表示する](#)」の内容に従ってグループメニューを表示します。
2. グループメニューの[Power ON all]を選択します。



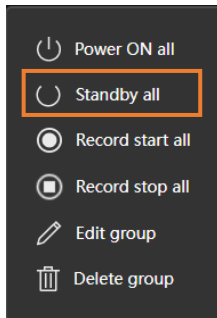
3. グループ内の全デバイスの電源が ON になります。

<NOTE>

- ・電源管理機能を持たないデバイスがグループに含まれていた場合、そのデバイスに対しては何も行われません。
- ・デバイス Type によっては、電源 ON 状態に移行した後の動作を設定することができます。詳細は本節の「[デバイスの登録情報・設定を変更する](#)」を参照ください。

グループ内の全デバイスをスタンバイ状態にする

1. 前節「[グループメニューを表示する](#)」の内容に従ってグループメニューを表示します。
2. グループメニューの[Standby all]を選択します。



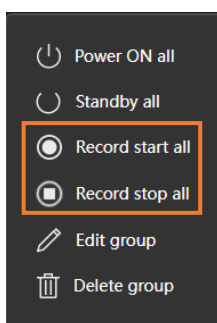
3. グループ内の全デバイスがスタンバイ状態になります。

<NOTE>

- ・電源管理機能を持たないデバイスがグループに含まれていた場合、そのデバイスに対しては何も行われません。
- ・デバイス Type によっては、スタンバイ状態に移行する前の動作を設定することができます。詳細は本節の「[デバイスの登録情報・設定を変更する](#)」を参照ください。

グループ内の全デバイスの映像記録を開始／停止する

1. 前節「[グループメニューを表示する](#)」の内容に従ってグループメニューを表示します。
2. 映像記録を開始するときはグループメニューの[Record start all]を、映像記録を停止するときはグループメニューの[Record stop all]を選択します。



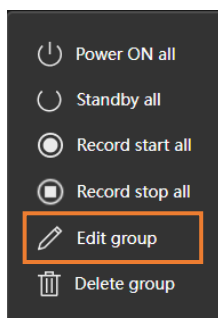
3. グループ内の全デバイスの映像記録が開始／停止されます。

<NOTE>

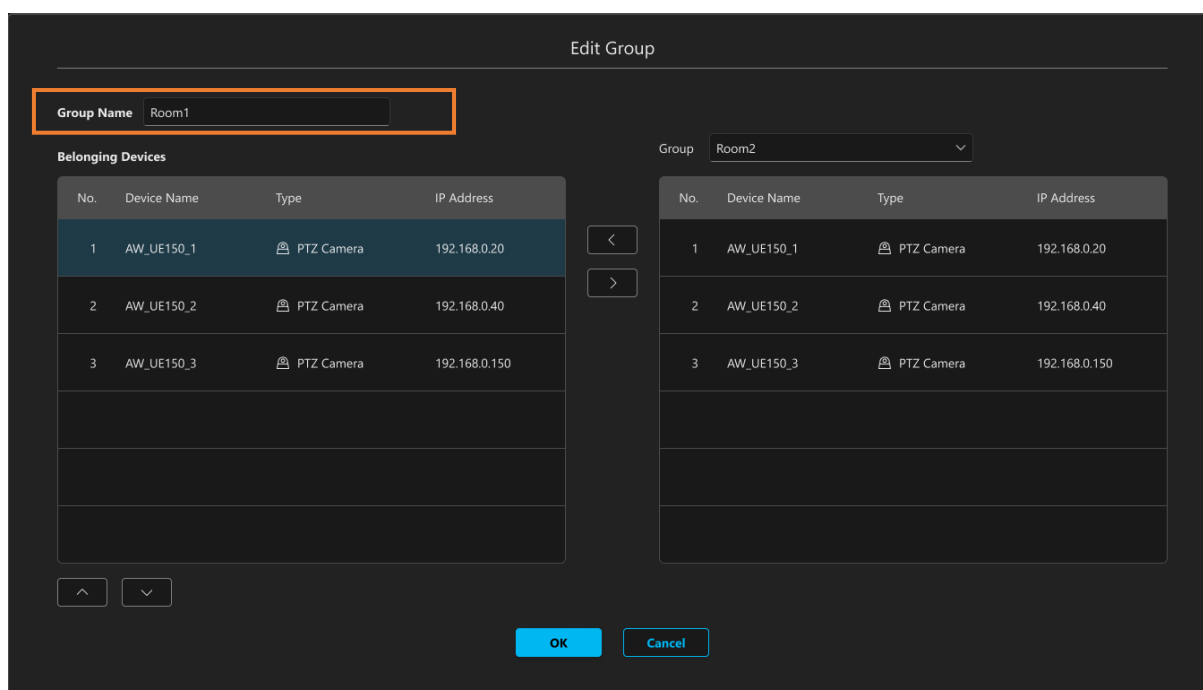
- ・映像記録機能を持たないデバイスがグループに含まれていた場合、そのデバイスに対しては何も行われません。

グループの表示名を変更する

1. 前節「[グループメニューを表示する](#)」の内容に従ってグループメニューを表示します。
2. グループメニューの[Edit group]を選択します。



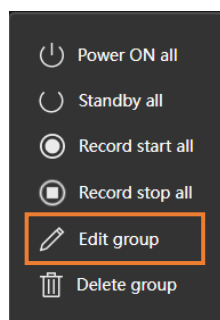
3. グループ設定画面が表示されます。
[Group Name]欄でグループの表示名を変更します。



4. [OK]ボタンをクリックすると変更が反映されます。

グループ内のデバイス表示順を変更する

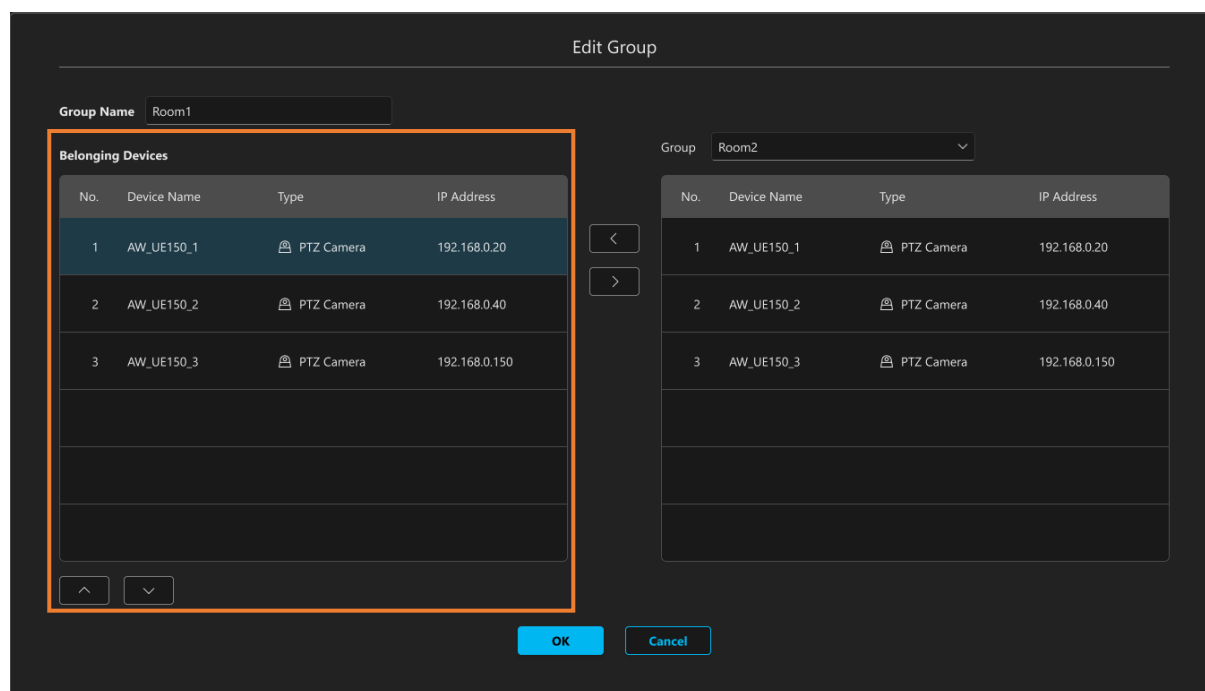
1. 前節「[グループメニューを表示する](#)」の内容に従ってグループメニューを表示します。
2. グループメニューの[Edit group]を選択します。



3. グループ設定画面が表示されます。

[Belonging Devices]欄に操作対象グループに属するデバイスの一覧が表示されています。

[Belonging Devices]欄でデバイスを選択して[Belonging Devices]欄下部の上下ボタンをクリックすると、デバイスの表示順が変更されます。



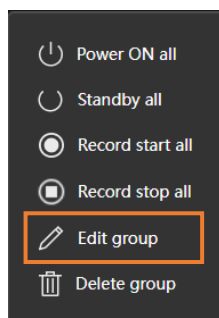
4. [OK]ボタンをクリックすると変更が反映されます。

<NOTE>

- ・ デバイス表示順の変更は、デバイスの一覧表示上でデバイスをドラッグ&ドロップして行うこともできます。

グループ内のデバイスを別のグループに移動する

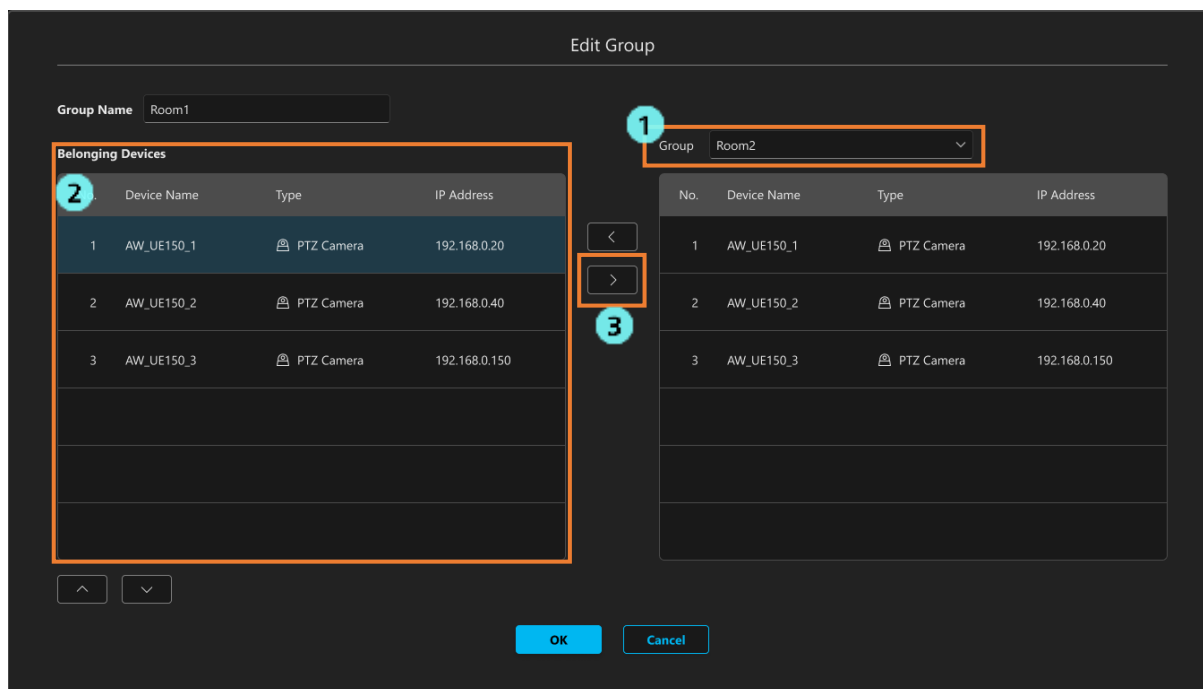
1. 前節「[グループメニューを表示する](#)」の内容に従ってグループメニューを表示します。
2. グループメニューの[Edit group]を選択します。



3. グループ設定画面が表示されます。

[Belonging Devices]欄に操作対象グループに属するデバイスの一覧が表示されています。

設定画面の右側の[Group]欄にはドロップダウンリストで選択されたグループに属するデバイスの一覧が表示されます。



以下の操作を行ってデバイスを移動します。

- 1) [Group]欄のドロップダウンリストで移動先のグループを選択します。
- 2) [Belonging Devices]欄で、移動したいデバイスを選択します。
- 3) 設定画面中央の[>]ボタンをクリックすると、選択されているデバイスが[Group]欄のグループに移動します。

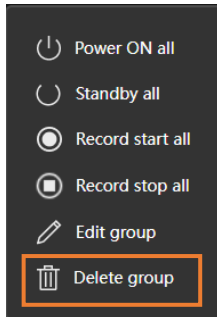
<NOTE>

- ・[Group]欄でデバイスを選択して設定画面中央の[<]ボタンをクリックすることで、[Group]欄のデバイスを[Belonging Devices]欄に移動させることができます。

5. [OK]ボタンをクリックすると変更が反映されます。

グループを削除する

1. 前節「[グループメニューを表示する](#)」の内容に従ってグループメニューを表示します。
2. グループメニューの[Delete group]を選択します。



3. 削除確認メッセージが表示されます。[OK]をクリックすると選択されたグループと、グループに属する全デバイスが削除されます。

内蔵 EasyIP Setup Tool Plus 機能

主な機能

1. デバイスの検出・情報表示

EasyIP に対応したデバイスをネットワークから検出することができます。また、デバイスの MAC Address, Ipv4 Address 等の設定情報を表示することもできます。

2. Identify

デバイスがリモートカメラの場合、指定したカメラの電源ランプを高速点滅することができます。

3. Network Settings

指定したデバイスのネットワーク設定情報を変更することができます。

4. Web GUI

指定したデバイスの Web 画面に遷移することができます。

5. Auto IP

指定したデバイスの IP アドレスを連続したアドレスに割り当てることができます。

6. Administrator Registration

指定したデバイスに管理者アカウントを登録することができます。

7. Firmware Update

接続されたデバイスのファームウェアをバージョンアップすることができます。

8. Activation

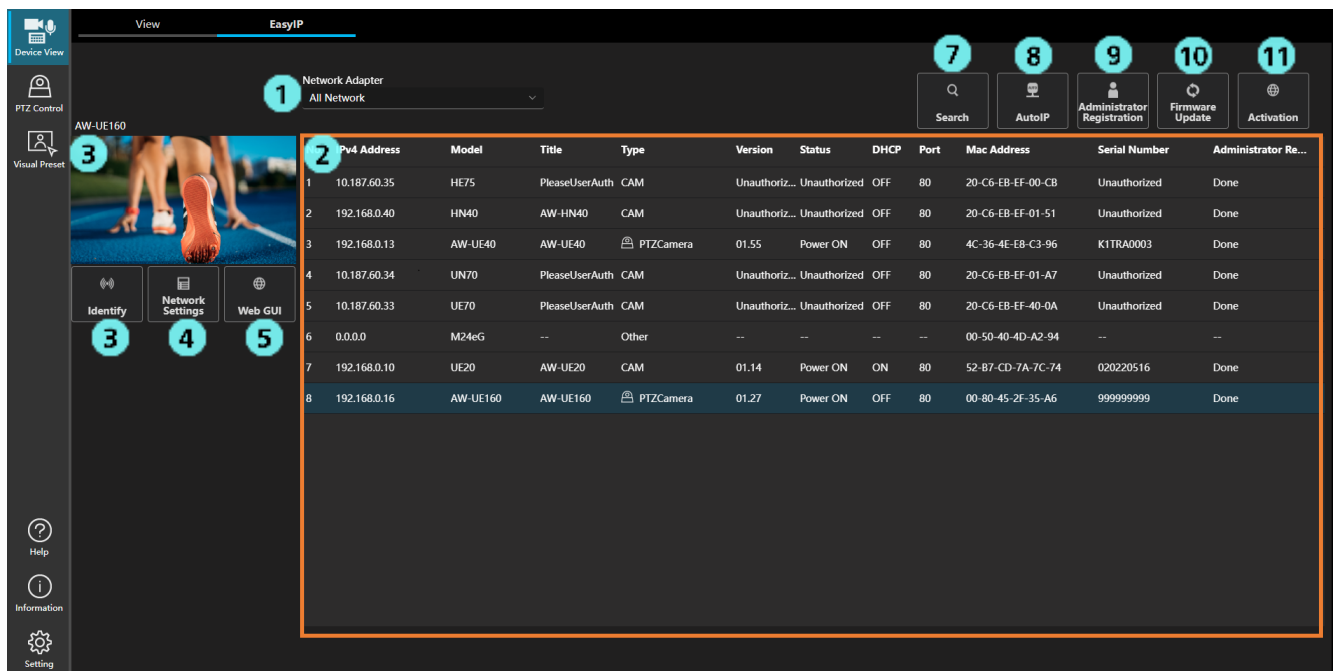
各種有償ライセンスのアクティベーションを行うことができます。

<NOTE>

- ・デバイスがボックススタイルカメラ AW-UB10, AW-UB50 のときは、Network Settings 機能と Administrator Registration 機能のみ使用可能です。

画面の説明

メイン画面



1. ネットワーク選択

検索に使用するネットワークを設定することができます。

2. デバイスリスト表示

ネットワーク上を検索して検出されたデバイスの一覧が表示されます。

3. カメラ映像表示

デバイスがリモートカメラのとき、指定したカメラの映像を表示することができます。

※カメラのユーザー認証が ON の場合、映像を取得することができません。

4. Identify

デバイスがリモートカメラのとき、指定したカメラの電源ランプを高速点滅させることができます。

5. Network Settings

指定したデバイスのネットワーク設定情報を変更することができます。

6. Web GUI

指定したデバイスの Web 画面を表示することができます。

7. Search

ネットワーク上のデバイスの検出動作を行います。

8. Auto IP

指定したデバイスの IP アドレスを連続したアドレスに割り当てることができます。

9. Administrator Registration

指定したデバイスに管理者アカウントを登録することができます。

10. Firmware Update

指定したデバイスのファームウェアデータをアップデートすることができます。

11. Activation

各種有償ライセンスのアクティベーションを行うことができます。

デバイスリスト表示

- IPv4 Address

デバイスの IPv4 Address を表示します。

IPv4 Address をクリックすることで、デバイス一覧を IPv4 Address の昇順、または降順に並び替えることができます。

- Model

デバイスのモデル名を表示します。

Model をクリックすることで、デバイス一覧を Model 毎の表示に並び替えることができます。

- Title

デバイスのタイトルを表示します。

Title をクリックすることで、デバイス一覧を Title の昇順、または降順に並び替えることができます。

- Category

機器カテゴリを表示します。

カメラの場合、CAM と表示されます。

Category をクリックすることで、デバイス一覧を Category 毎の表示に並び替えることができます。

- FW Version

デバイスのファームウェアバージョンを表示します。

※デバイスのユーザー認証が ON の場合、情報を取得することができません。

- Status

デバイスの状態を表示します。

PowerON：電源 ON Standby：スタンバイ状態

※デバイスのユーザー認証が ON の場合、情報を取得することができません。

Status をクリックすることで、デバイス一覧を Status 毎の表示に並び替えることができます。

- DHCP

デバイスのネットワーク設定情報を表示します。

ON：DHCP 設定 OFF：固定 IP 設定

DHCP をクリックすることで、デバイス一覧を DHCP 毎の表示に並び替えることができます。

- Port

デバイスのポート番号を表示します。

Port をクリックすることで、デバイス一覧をポート番号の昇順、または降順に並び替えることができます。

- MAC Address

デバイスの MAC Address を表示します。

- Serial Number

デバイスのシリアル番号を表示します。

※デバイスのユーザー認証が ON の場合、情報を取得することができません。

- Administrator Registration

管理者アカウントの設定情報を表示します。

Done：設定済み None：未設定

Administrator Registration をクリックすることで、デバイス一覧を Administrator Registration 毎の表示に並び替えることができます。

- IPv6 Address

デバイスの IPv6 Address を表示します。

IPv6 Address をクリックすることで、デバイス一覧を IPv6 Address の昇順、または降順に並び替えることができます。

- Web 画面への遷移

ダブルクリックを行うことで、選択したデバイスの Web 画面に遷移することができます。

<NOTE>

- 情報が取得できない場合の表記

Unsupported：情報取得がサポートされていないデバイスです。

Unauthorized：デバイスの User 認証が ON のため、情報を取得することができません。

--：動作サポート対象外のデバイスです。

Identify 機能

指定したリモートカメラの電源ランプを高速点滅させることができます。

操作方法

1. デバイスリストの一覧より、カメラを選択します。
2. Identify ボタンをクリックします。
3. カメラの電源ランプが高速点灯します。

<NOTE>

- ・電源開始から 20 分が経過したカメラは Identify 機能を利用することができません。
20 分経過後も操作を行いたい場合、カメラのネットワーク設定で
[Easy IP Setup accommodate period]を”Unlimited”に設定してください。
- ・リモートカメラ以外のデバイスでは、本ボタンの機能をサポートしていないことがあります。

Network Settings 機能

指定したデバイスのネットワーク設定情報を変更することができます。

操作方法

※表示パターンはデバイスの機種によって異なります。

・表示パターン①

デバイスタイトル・ポート番号・IPv4・IPv6・DNS の設定を行うことができます。

Network Settings

Title: AW-UE160

Port No.: 80

IPv4 Network

DHCP: ☐ On ☒ Off

IPv4 Address: 192.168.0.16

Subnet Mask: 255.255.255.0

Default Gateway: 192.168.0.1

IPv6 Network

Manual: ☐ On ☒ Off

IPv6 Address:

Default Gateway:

DHCPv6: ☒ On ☐ Off

DNS: ☐ Auto ☒ Manual

Primary Server Address: 0.0.0.0

Secondary Server Address: 0.0.0.0

Setup Cancel

1. ネットワーク設定情報を変更します。
2. [Setup]ボタンをクリックすると、設定を開始します。
3. デバイスの User ID, Password を入力します。

Please enter the camera authentication information

User ID:

Password:

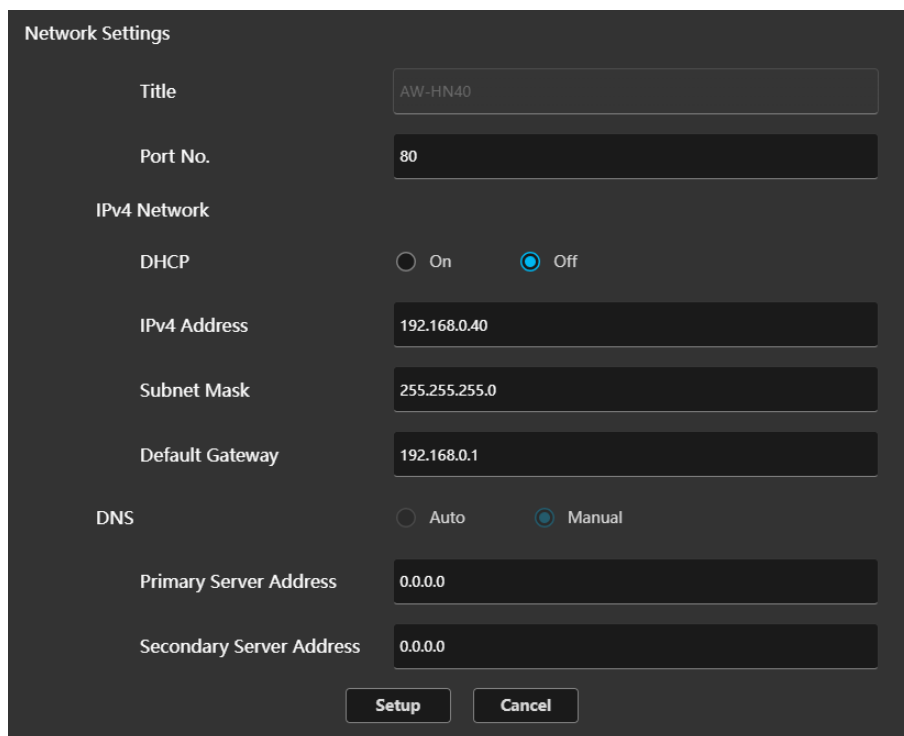
OK Cancel

4. 設定に成功した場合、"Setup Camera Successfully"と表示されます。
5. 設定に失敗した場合、"Fail to Setup Camera"と表示されます。

・表示パターン②

ポート番号・IPv4・DNS の設定を行うことができます。

※デバイスタイトルの設定を行うことはできません。



The image shows a 'Network Settings' dialog box with a dark background. It contains several input fields and radio buttons. The 'Title' field is pre-filled with 'AW-HN40'. The 'Port No.' field is pre-filled with '80'. Under the 'IPv4 Network' section, the 'DHCP' radio button is set to 'Off'. The 'IPv4 Address' field is pre-filled with '192.168.0.40', the 'Subnet Mask' with '255.255.255.0', and the 'Default Gateway' with '192.168.0.1'. Under the 'DNS' section, the 'Manual' radio button is selected. The 'Primary Server Address' and 'Secondary Server Address' fields are both pre-filled with '0.0.0.0'. At the bottom, there are 'Setup' and 'Cancel' buttons.

Network Settings	
Title	AW-HN40
Port No.	80
IPv4 Network	
DHCP	☐ On ☒ Off
IPv4 Address	192.168.0.40
Subnet Mask	255.255.255.0
Default Gateway	192.168.0.1
DNS	
	☐ Auto ☒ Manual
Primary Server Address	0.0.0.0
Secondary Server Address	0.0.0.0
Setup Cancel	

1. ネットワーク設定情報を変更します。
2. [Setup]ボタンをクリックすると、設定を開始します。
3. 設定に成功した場合、"Setup Camera Successfully"と表示されます。
4. 設定に失敗した場合、"Fail to Setup Camera"と表示されます。

<NOTE>

- ・電源開始から 20 分が経過したデバイスは Identify 機能を利用することができません。
20 分経過後も操作を行いたい場合、デバイスのネットワーク設定で
[Easy IP Setup accommodate period]を"Unlimited"に設定してください。

Auto IP 機能

指定したデバイスの IP アドレスを連続したアドレスに割り当てることができます。

また、DHCP 設定を一括で切り替えることができます。

☐	N...	IPv4 Address	Model	Title	Type	Version	Status	DH...	Port	Mac Address
☐	1	192.168.0.40	HN40	AW-HN40	CAM	Unauth...	Unauthor...	OFF	80	20-C6-EB-EF-01-51
☐	2	192.168.0.16	AW-UE160	AW-UE160	PTZCamera	01.27	Power ON	OFF	80	00-80-45-2F-35-A6
☐	3	192.168.0.13	AW-UE40	AW-UE40	PTZCamera	01.55	Power ON	OFF	80	4C-36-4E-E8-C3-96
☐	4	192.168.0.10	UE20	AW-UE20	CAM	01.14	Power ON	ON	80	52-B7-CD-7A-7C-74

DHCP ☐ On ☒ Off

Auto IP Start Address

Option ^

Subnet Mask

Default Gateway

Port No.

DNS ☐ Auto ☒ Manual

Primary Server Address

Secondary Server Address

操作方法

1. 設定を行うデバイスのチェックボックスを選択します。※複数のデバイスを選択可能です。
2. DHCP ON/OFF を選択します。
3. Auto IP Start Address の入力

- ・ DHCP OFF を選択している場合

Auto IP Start Address に、割り当て開始のアドレスを入力します。

例) 192.168.0.10 と入力した場合、一覧の上から順に

192.168.0.10, 192.168.0.11, 192.168.0.12...

のように、IP アドレスが設定されます。

※Option 項目として、サブネットマスク・デフォルトゲートウェイ・ポート番号・DNS を設定することができます。Option を選択した場合、全てのデバイスに対して値を設定します。

- ・ DHCP ON を選択している場合

デバイスの DHCP 設定を ON に設定するため、Auto IP Start Address は入力することができません。

4. Setup ボタンを押すと、一覧の上から順に設定を開始します。
5. 設定に成功した場合、成功したデバイスの一覧が表示されます。
6. 設定に失敗した場合、失敗したデバイスの一覧が表示されます。

<NOTE>

- ・ 電源開始から 20 分が経過したデバイスは Identify 機能を利用することができません。

20 分経過後も操作を行いたい場合、デバイスのネットワーク設定で
[Easy IP Setup accommodate period]を”Unlimited”に設定してください。

Administrator Registration 機能

デバイスの管理者アカウントを登録することができます。

デバイス一覧には、管理者アカウントが登録されていないデバイスのみが表示されます。

Administrator Registration

☐	No.	IPv4 Address	Model	Title	Type	Version	Status	DHCP	Port	Mac Address
☐	1	192.168.0.10	AW-UE160	AW-UE160	PTZCamera	01.27	Power ON	OFF	80	00-80-45-2F-35-A6

User ID

Password

Password(Confirm)

Note

- ・ User name can be set from 1 to 32 characters.
- ・ Password can be set from 4 to 32 characters. (8 or more characters recommended)
- ・ Distinguish between upper and lower cases.
- ・ For the password, it is recommend to use three or more types of characters from the following.
 - upper case alphabetic
 - lower case alphabetic
 - numbers
 - symbols(!#\$% '()*+,-./?:@[]^_`~)
- ・ Set the password which does not include the user name.
- ・ It is recommended to change the password periodically.

Setup

Cancel

操作方法

1. 管理者アカウントを登録するデバイスのチェックボックスを選択します。

※複数のデバイスを選択可能です。

※同じ IP Address のデバイスが存在する場合、設定を行うことはできません。

Network Settings, Auto IP 機能を利用してデバイスの IP Address を変更してください。

2. User Name, Password を入力します。
3. Setup ボタンを押すと、登録を開始します。
4. 登録に成功した場合、成功したデバイスの一覧が表示されます。
5. 登録に失敗した場合、失敗したデバイスの一覧が表示されます。

<NOTE>

- ・ 既に管理者アカウントが設定されているデバイスに対し、アカウントを登録することはできません。

Firmware Update 機能

接続されたデバイスのファームウェアをバージョンアップすることができます。

Firmware Update

☒ Auto ☐ Manual

☐	No.	IPv4 Address	Model	Title	Version	Latest Version	Mac Address	User ID	Password	Firmware File
☐	1	192.168.0.10	UE20	AW-UE20	01.14	01.22	52-B7-CD-7A-7C-74			Select

Batch Input

User ID: Password: Firmware File:

Latest Version 欄にデバイスの最新ファームウェアバージョンが表示されます。
サーバーPC がインターネットに接続されているときのみ表示されます。

操作方法

- ・ Update Method : Auto の場合

Firmware Update

☒ Auto ☐ Manual

☐	No.	IPv4 Address	Model	Title	Version	Latest Version	Mac Address	User ID	Password	Firmware File
☐	1	192.168.0.10	UE20	AW-UE20	01.14	01.22	52-B7-CD-7A-7C-74			Select

Batch Input

User ID: Password: Firmware File:

ファームウェアファイルのダウンロードからデバイスのバージョンアップまで、アプリが全てを行います。デバイス一覧には、最新のファームウェアバージョンへのバージョンアップが必要なデバイスのみが表示されます。

※Auto メソッドを利用するためには、サーバーPC がインターネットに接続されている必要があります。

バージョンアップ手順

- バージョンアップを開始するデバイスのチェックボックスを選択します。
 ※複数のデバイスを選択可能です。
 ※同じ IP Address のデバイスが存在する場合、処理を行うことができません。
 Network Settings, Auto IP 機能を利用してデバイスの IP Address を変更してください。
- デバイスの User ID, Password をそれぞれ入力します。
 一括入力：Batch Input 欄で値を入力し、Input ボタンを押します。
 選択されたデバイスの User ID, Password を入力することができます。
 Delete ボタンを押すと、選択されたデバイスの User ID, Password 値をクリアすることができます。
 個別入力：デバイス毎に User ID, Password を入力します。
- Update ボタンを押すと、最新のファームウェアへのバージョンアップを開始します。
 ※バージョンアップ開始後、EasyIP 機能では他の操作ができません。
- バージョンアップが完了した場合、成功したデバイスの一覧が表示されます。
- バージョンアップに失敗した場合、失敗したデバイスの一覧が表示されます。

・ Update Method : Manual の場合

The screenshot shows the 'Firmware Update' window with the 'Manual' method selected. It contains a table with columns: No., IPv4 Address, Model, Title, Version, Latest Version, Mac Address, User ID, Password, and Firmware File. Below the table is a 'Batch Input' section with fields for User ID, Password, and Firmware File, along with buttons for Input, Delete, Select, Setup, and Cancel.

No.	IPv4 Address	Model	Title	Version	Latest Version	Mac Address	User ID	Password	Firmware File
1	192.168.0.16	AW-UE160	AW-UE160	01.27	01.27	00-80-45-2F-35-A6			Select
2	10.187.60.33	UE70	PleaseUserAuth	--	02.10	20-C6-EB-EF-40-0A			Select
3	192.168.0.40	HN40	AW-HN40	--	02.10	20-C6-EB-EF-01-51			Select
4	10.187.60.35	HE75	PleaseUserAuth	--	02.10	20-C6-EB-EF-00-CB			Select
5	10.187.60.34	UN70	PleaseUserAuth	--	02.10	20-C6-EB-EF-01-A7			Select
6	192.168.0.13	AW-UE40	AW-UE40	01.65	01.55	4C-36-4E-E8-C3-96			Select
7	192.168.0.10	UE20	AW-UE20	--	01.22	52-B7-CD-7A-7C-74			Select

Batch Input

User ID: Password: Firmware File:

ファームウェアファイルを PC から選択し、バージョンアップを行います。

デバイス一覧にはバージョンアップ可能なデバイスが表示されます。

注意事項

- ・実行は Windows PC から行う必要があります。Mac や iPad からの実行はできません。
- ・クライアント PC から操作を行う場合は、事前に Web Plugin (クライアント PC 用ツール) のインストールを行っておく必要があります。

弊社 Web サイト (https://eww.pass.panasonic.co.jp/pro-av/support/content/download/JP/jp2main/mps_client_tool_j.htm) からダウンロードしてインストールを行ってください。

バージョンアップ手順

- バージョンアップを開始するデバイスのチェックボックスを選択します。

※複数のデバイスを選択可能です。

※同じ IP Address のデバイスが存在する場合、処理を行うことができません。

Network Settings, Auto IP 機能を利用してデバイスの IP Address を変更してください。

2. デバイスの User ID, Password をそれぞれ入力します。

一括入力：Batch Input 欄で値を入力し、Input ボタンを押します。

選択されたデバイスの User ID, Password を入力することができます。

Delete ボタンを押すと、選択されたデバイスの User ID, Password 値をクリアすることができます。

個別入力：デバイス毎に User ID, Password を入力します。

3. ファームウェアファイルを選択します。

一括入力：Batch Input 欄の Select ボタンをクリックすると、ファームウェアアップデート用ツールを開くかどうかの確認メッセージが表示されますので「開く」を選択します。ファームウェアアップデート用ツールが起動するので「Input」ボタンをクリック→ファームウェアファイルを選択→「Upload」ボタンをクリックの順で操作を行います。

Upload 操作を行うと、選択したファームウェアファイルが GUI に設定されます。

次に Input ボタンを押すことで、選択されたデバイスのファームウェアファイルを入力することができます。

Delete ボタンを押すと、選択されたデバイスのファームウェアファイルをクリアすることができます。

個別入力：デバイス表示行の Select ボタンをクリックすると、ファームウェアアップデート用ツールを開くかどうかの確認メッセージが表示されますので「開く」を選択します。ファームウェアアップデート用ツールが起動するので「Input」ボタンをクリック→ファームウェアファイルを選択→「Upload」ボタンをクリックの順で操作を行います。

Upload 操作を行うと、選択したファームウェアファイルが GUI に設定されます。

4. Update ボタンを押すと、選択したデバイスのバージョンアップを開始します。

※バージョンアップ開始後、EasyIP 機能では他の操作ができません。

5. バージョンアップが完了した場合、成功したデバイスの一覧が表示されます。

6. バージョンアップに失敗した場合、失敗したデバイスの一覧が表示されます。

Activation 機能

デバイスの有償ライセンスのアクティベーションを行うことができます。

※本機能はサーバーPC がインターネットに接続されているときのみ利用することができます。

以下のライセンスのアクティベーションを行うことができます。

- ・ NDI | HX
- ・ MoIP (SMPTE ST 2110)

■NDI | HX ライセンスのアクティベーション

Activation 画面左上のライセンス選択ボックスで NDI|HX を選択すると、NDI | HX ライセンスのアクティベーション画面になります。

☐	No.	IPv4 Address	Model	Title	Version	NDI HX Support	Activation Status	License Code
☐	1	10.187.60.33	UE70	PleaseUserAuth	Unauthoriz...	False	-	
☐	2	192.168.0.40	HN40	AW-HN40	Unauthoriz...	False	-	
☐	3	10.187.60.35	HE75	PleaseUserAuth	Unauthoriz...	False	-	
☐	4	192.168.0.13	AW-UE40	AW-UE40	01.55	True	Not Yet	
☐	5	192.168.0.10	UE20	AW-UE20	01.14	False	-	
☐	6	10.187.60.34	UN70	PleaseUserAuth	Unauthoriz...	False	-	

Activate Deactivate Cancel

NDI|HX Support : NDI|HX に対応しているデバイス : True

NDI|HX に非対応のデバイス : False

Activation Status : Activation が完了しているデバイス : Done

Activation が未完了のデバイス : Not Yet

Activation 手順

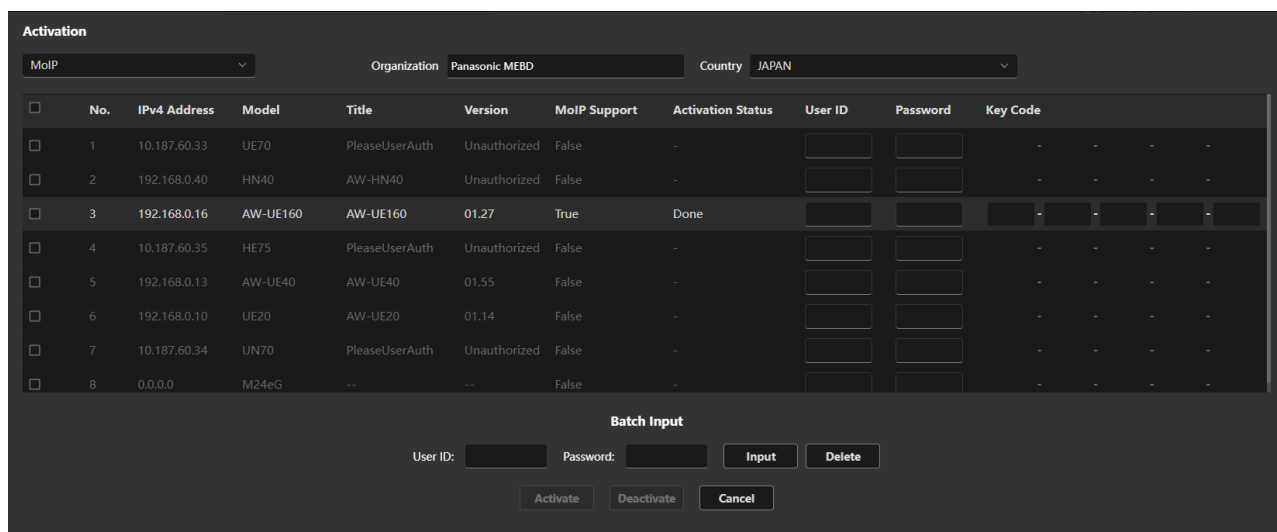
1. Activation を行いたいデバイスを選択します。
2. License Code 欄にライセンスコードを入力します。
3. Activate ボタンを押すとアクティベーションが開始されます。

Deactivation 手順

1. Deactivation を行いたいデバイスを選択します。
2. License Code 欄にライセンスコードを入力します。
3. Deactivate ボタンを押すとディアクティベーションが開始されます。

■MoIP（SMPTE ST 2110）ライセンスのアクティベーション

Activation 画面左上のライセンス選択ボックスで MoIP を選択すると、MoIP（SMPTE ST 2110）ライセンスのアクティベーション画面になります。



No.	IPv4 Address	Model	Title	Version	MoIP Support	Activation Status	User ID	Password	Key Code
1	10.187.60.33	UE70	PleaseUserAuth	Unauthorized	False	-			- - - -
2	192.168.0.40	HN40	AW-HN40	Unauthorized	False	-			- - - -
3	192.168.0.16	AW-UE160	AW-UE160	01.27	True	Done			- - - -
4	10.187.60.35	HE75	PleaseUserAuth	Unauthorized	False	-			- - - -
5	192.168.0.13	AW-UE40	AW-UE40	01.55	False	-			- - - -
6	192.168.0.10	UE20	AW-UE20	01.14	False	-			- - - -
7	10.187.60.34	UN70	PleaseUserAuth	Unauthorized	False	-			- - - -
8	0.0.0.0	M24eG	--	--	False	-			- - - -

Batch Input

User ID: Password:

MoIP Support：MoIP に対応しているデバイス：True

MoIP に非対応のデバイス：False

Activation Status：Activation が完了しているデバイス：Done

Activation が未完了のデバイス：Not Yet

Activation 手順

1. Organization 欄に会社名を入力します。

入力可能な文字：アルファベット、数値、半角スペース

入力可能な文字数：40 文字まで

2. Country 欄で国を選択します。

3. Activation を行いたいデバイスを選択します。

4. デバイスの User ID, Password を入力します。

一括入力：Batch Input 欄で値を入力し、Input ボタンを押します。

選択されたデバイスの User ID, Password を入力することができます。

Delete ボタンを押すと、選択されたデバイスの User ID, Password 値をクリアすることができます。

個別入力：デバイス毎に User ID, Password を入力します。

5. Key Code 欄にライセンスキーコードを入力します。

6. Activate ボタンを押すとアクティベーションが開始されます。

Deactivation 手順

1. Organization 欄に会社名を入力します。

入力可能な文字：アルファベット、数値、半角スペース

入力可能な文字数：40 文字まで

2. Country 欄で国を選択します。

3. Deactivation を行いたいデバイスを選択します。

4. User ID, Password を入力します。

一括入力：Batch Input 欄で値を入力し、Input ボタンを押します。

選択されたデバイスの User ID, Password を入力することができます。

Delete ボタンを押すと、選択されたデバイスの User ID, Password 値をクリアすることができます。

個別入力：デバイス毎に User ID, Password を入力します。

5. Key Code 欄にライセンスキーコードを入力します。

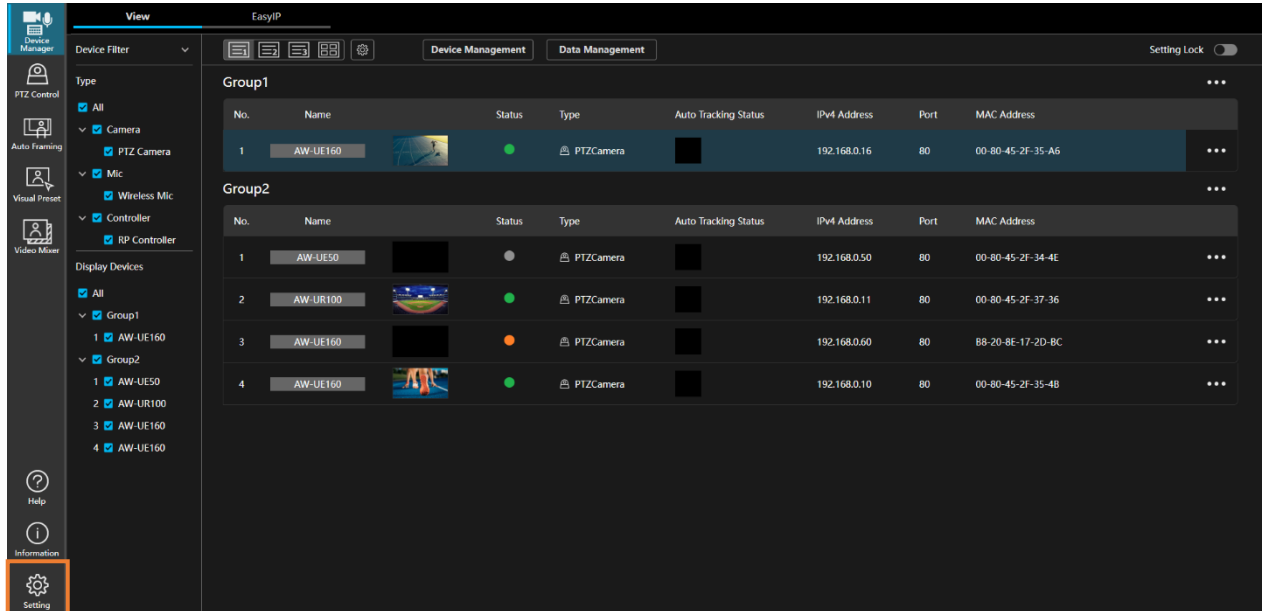
6. Deactivation ボタンを押すとディアクティベーションが開始されます。

デバイスリストの表示項目を設定する

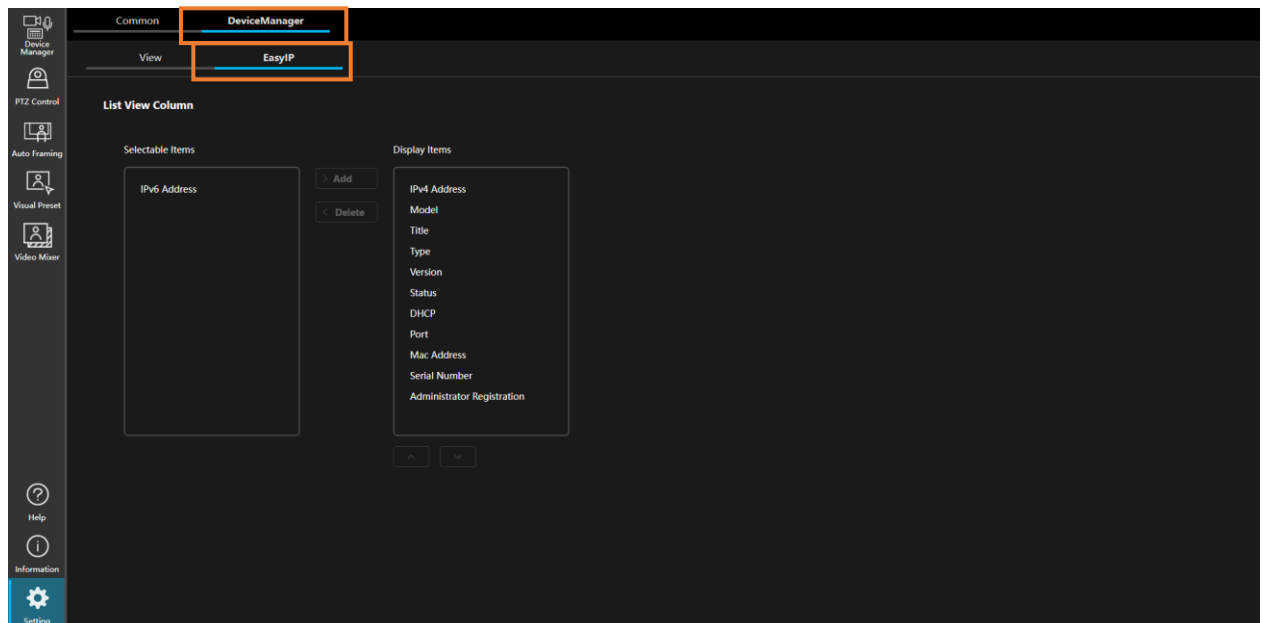
デバイスリストで表示する項目は Setting 画面で設定することができます。

以下の手順で設定を行います。

1. 機能選択エリアで[Setting]ボタンをクリックして、Setting 画面に移動します。



2. Setting 画面で[Device Manager]タブをクリックして Device Manager 機能の設定画面に移動し、[EasyIP]タブをクリックします。



3. 項目を非表示対象から表示対象に変更したい場合は[Selectable Items]内の項目を選択して[> Add]ボタンをクリックします。項目が[Display Items]に移動して表示対象になります。
項目を表示対象から非表示対象に変更したい場合は[Display Items]内の項目を選択して[< Delete]ボタンをクリックします。項目が[Selectable Items]に移動して非表示対象になります。
また、[Display Items]で項目を選択して[Display Items]の下にある上下ボタンをクリックすることで、項目の表示順を変更することができます。

アカウント権限による機能制限

権限による制限の一覧

Administrator/Super User/User のアカウント権限のうち Administrator 以外の権限では、使用できる機能に制限が発生します。

以下の表で○になっている箇所が使用できる機能になります。

		Administrator	Super User	User
View タブ				
デバイスの登録		○		
デバイス表示の絞り込み		○	○	○
リスト表示の設定値変更		○	○	
シーンファイル操作		○	○	
デバイスメニュー	Control	○	○	○
	Web	○	○	○
	Power ON	○		
	Standby	○		
	Record start	○	○	○
	Record stop	○	○	○
	Edit	○		
	Delete	○		
グループメニュー	Power ON all	○		
	Standby all	○		
	Record start all	○	○	○
	Record stop all	○	○	○
	Edit group	○		
	Delete group	○		
EasyIP タブ				
機能へのアクセス		○		